

# 衣料品の「取扱い注意表示ガイド」

改訂版 01

平成17年3月

社団法人 日本アパレル産業協会  
SCM推進委員会品質管理WG委員会

## はじめに

平成14年度よりSCM推進委員会の部会として品質管理WG委員会を設置し、生地  
の品質に関する「試験要領」と「試験成績報告書」の標準化について研究し、平成15年6  
月にセミナーを開催し発表を行いました。

平成15年度は「取扱い注意表示」をテーマに検討し、平成16年3月に「衣料品の取  
扱い注意表示ガイド」としてまとめ、更に利活用し易くする目的で、16年度も引き続き  
「取扱い注意表示ガイド」の検討を重ね、今回改訂版としてまとめました。

「取扱い注意表示」は取扱い絵表示を補足する文章で、これまで各企業が自ら作成し、自  
社製品に付けていますが、同じ内容でも表現は千差万別であり、消費者やクリーニング店  
に正しく伝わらない現象も一部では見られ、また、副資材メーカーとの受発注はきわめて  
複雑な状況を呈し、作成ミスも多く発生しています。

今後のアパレル業界のIT化、グローバル化と海外生産の展開を考えてもこの標準化は  
避けられない課題となっています。

今回の発表はアパレル全体を網羅したものではなく、スポーツ製品やインティメート製  
品については対象から外していますが、これらについては、今後その分野の団体や企業の  
協力を得て研究を進める予定です。

なお、今回作成した「取扱い注意表示ガイド」は標準化への第一歩であり、使用しては  
じめて必要事項の欠落や不備が発見され、一步一步完成に近づくものと考えています。

今後そのための検討を継続してまいりますので、皆様のご意見、ご要望をお寄せくださ  
い。

平成17年3月吉日

社団法人 日本アパレル産業協会  
SCM推進委員会  
委員長 深澤 恒夫

# 目 次

章	衣料品の「取扱い注意表示ガイド」の作成について.....	5
1.	取扱い注意表示の現状と課題.....	5
2.	「取扱い注意表示ガイド」の作成.....	6
3.	「取扱い注意表示ガイド」の使用方法と注意点.....	6
4.	標準化へのステップ.....	7
章	取扱い注意表示ガイド.....	8
1.	一般表示 発注事例.....	9
2.	専用表示 発注事例.....	10
章	取扱い注意表示	
1.	「一般表示」ですます調	
(1)	洗い方.....	12
(2)	脱水.....	16
(3)	乾燥.....	17
(4)	アイロン.....	19
(5)	着用・手入れ.....	20
(6)	保管.....	22
2.	「専用表示」	
	事象編 ですます調.....	24
	素材編 ですます調.....	26

### 3. 「一般表示」紋切り型

(1) 洗い方.....	35
(2) 脱水.....	39
(3) 乾燥.....	40
(4) アイロン.....	42
(5) 着用・手入れ.....	43
(6) 保管.....	45

### 4. 「専用表示」

事象編 紋切り型.....	47
---------------	----

素材編 紋切り型.....	50
---------------	----

一般表示 「～部分」 部位・附属・加工コード表.....	57
------------------------------	----

章 副資材分類.....	58
--------------	----

副資材のEDI取引については「QR推進のために 11号」参照

## 章 衣料品の「取扱い注意表示ガイド」の作成について

### 1. 取扱い注意表示の現状と課題

製品に添付する取扱い上の表示は、法定表示である「取扱い絵表示」に加えて、取扱い上の注意点をより詳細に説明するための「取扱い注意表示」を多くのアパレルメーカーが表示しています。

「取扱い注意表示」は、

- ・素材の持つ特性や技術限界を事前に消費者に理解してもらえる
- ・製品の着用や洗濯による事故を未然に防止できる

など、消費者、クリーニング店、販売店、アパレルメーカーそれぞれにメリットがあるといえます。

しかし、この「取扱い注意表示」は、皮革製品が「雑貨工業品品質表示規定」によって定められている場合を除き、表示の有無や表示の内容は表示者の自由意志で決められており、結果として各アパレルメーカー独自の、たくさんの表示が存在しています。

同じ素材や同じ特性を持つ製品であっても、その表示内容はアパレルメーカーによって異なってしまうのが現状で、これが消費者やクリーニング店に混乱を引き起こさないとも限りません。

また、製品に添付する表示ラベルを生産する副資材メーカーにおいては、アパレルメーカー毎に専用の「取扱い注意表示」リストを用意せざるを得ず、その受発注や管理は非常に煩雑になっており、生産ミスも多くなっています。

そのため、過去さまざまな団体が標準化の検討を行い、それぞれのスタンスで「標準表示」や「取扱い注意表示マニュアル」を作成していますが、アパレル業界の中で広く一般的に「標準」として使われているものはないのが現状です。

「取扱い注意表示」の標準化が進んでこなかった背景には、

- ・もともと「取扱い注意表示」を添付する習慣がない企業も多い
- ・ターゲットとする顧客に「取扱い注意表示」が必要とされていない
- ・販売上、表示が不利益となる場合がある（と考えられている）
- ・標準マニュアルが作成されてはいるが、新素材や新加工製品に対応するための、定期的な見直しやメンテナンスがなされていない。

などの要因が考えられます。

また、表示をするか、しないか、表現をどうするかなどといった問題は、ブランドコンセプトの一部を成しており、MD やデザイナーの思想にかかわる問題のため標準になり得ないとする考え方も否定できません。

一方では消費者側の衣服に対する価値観の変化とそれに伴う素材の複雑化も否めない事実として存在し、特に若年層の衣服の取扱いに関する知識のなさは、「取扱い注意表示」の多様化、ひいては過剰な表示の原因の一つにもなっています。

## 2. 「取扱い注意表示ガイド」の作成

(社)日本アパレル産業協会、品質管理 WG 委員会では、このような現状を考え、平成 15 年度の研究課題として「取扱い注意表示の集約」をテーマとして取り上げ、多くのアパレルが利用でき、かつ時代性も取り入れたガイドの作成にとりかかりました。

作成にあたりましては(財)日本繊維製品品質技術センターの「繊維製品取扱い注意表示マニュアル作成実行委員会」が作成した「繊維製品取扱い注意表示マニュアル」をベースとし、さらに品質管理 WG 委員の所属する各企業において使用している表示内容を持ち寄り、東日本繊維ネーム商業協同組合のご協力もいただき、極力項目の漏れのないよう心がけました。

また、あまりに過剰な表記を避け簡明な文章にする一方、表現の範囲についてはなるべく柔軟な使い方ができるようなかたちで集約作業を進めましたが平成 16 年度の改訂版において具体的には次の 6 項目を方針とし、標準ガイドの作成を行ないました。

表示口調はあえて限定せず、アパレル各社の使用表現を参考にして、「ですます調(～します。～あります。)」と「紋切り型(～のこと)」の 2 種類で表記する。

一般表示においては、各項目ごとに「取扱い」と「事象」に区分し、例えば

- ・「取扱い」のみの表記
- ・「事象」+「取扱い」の表記

のように、いずれの表記も可能なようにする。

各項目ごとに「適用」を設け、どういう素材・製品・加工に表示するのかを例示することにより、素材に関する高度な専門知識がなくても使用できるように工夫する。

一般消費者への注意表記に加え、特にクリーニング店へ伝えたい内容については<クリーニング店へのお願い>として、別記する。

「～部分」は部位・附属・加工コード表にて表記(参照：57P)

E D I 取引でのコード化を想定し項目ごとに N O を付す。

## 3. 「取扱い注意表示ガイド」の使用方法と注意点

「取扱い注意表示ガイド」は、「一般表示」と「専用表示」の 2 部構成になっています。

「一般表示」は、衣料品が取り扱われる洗い方、脱水、乾燥、アイロン、着用・手入れ、保管別に注意すべき点を記載しています。

「専用表示」は事象編・素材編からなり、キーワードで整理した特定の事象、素材、加工、製品形態、附属など、専用的に使用される注意表示を一括して記載しています。

このガイドを使用するにあたりましては、現状発生している消費者クレームやクリーニング事故などをよく検証して「何を伝えていればその事故の発生を防ぐことができたか」という視点で、表示の有無や内容を判断することが望まれます。

つまり、あくまで消費者の立場に立って考えるべきことで、アパレル側の「言い訳」にならないようにすることが必要です。

また、副資材メーカーへの発注は、今後の E D I 化を考慮しコード化できるよう各項目に番号を付していますので、このガイドを使用して発注を行う場合は、事前にコード化の確認を行ってください。

#### 4 . 標準化へのステップ

先にも述べましたように「取扱い注意表示」は企業やブランドのスタンスによって、その内容や表現方法は千差万別です。

また、市場に出回る素材のバリエーションやその組み合わせが多種多様であるため「統一化」や「標準化」ができていく分野でもあります。

しかし、表示ラベルを作成管理し添付する手間やコスト、消費者の利便性を考えるといつまでも「千差万別」というわけにはいかず、現在グローバルに進行中である E D I 化の流れの中で「標準化」が必須になるものと考えています。

今回は「標準化」といえるまでには至っていないかもしれませんが、この「取扱い注意表示ガイド」が標準化の議論の端緒となり、さらなる検討が行なわれることになれば幸いです。

なお、品質管理 WG 委員会において、今後も引き続き「取扱い注意表示ガイド」の改良とメンテナンスを行なってまいりますので、ご意見、ご要望を下記までお寄せ下さいますようお願いいたします。

(社) 日本アパレル産業協会

住所：〒135-8071 東京都江東区有明 3-1 TFT ビル 東館 9 階

TEL： 03-5530-5481

FAX： 03-5530-5482

URL： <http://www.jaic.or.jp>

## 章 「取扱い注意表示ガイド」

この「取扱い注意表示ガイド」は以下の点に留意の上ご利用下さい。

一般表示の「適用」欄に記載された内容は、各取扱い注意表示が表示される際の一例であり、「適用」欄に記載の素材を使用した製品すべてに表示が必要であるという意味ではありません。

「取扱い注意表示」は、消費者やクリーニング業者に対して詳細な注意を行うことによって事故を未然に防止するためのものであり、染色堅ろう度や物性上の不良をカバーするものではありません。

「取扱い注意表示」は、使用する素材の性質や製品の特徴を十分に把握したのちに添付するか否かを検討すべきものであり、試験などの検証を省略して、いたずらに添付しないでください。

なお、(社)日本アパレル産業協会 情報システム小委員会は、アパレル、縫製工場、副資材メーカー間における副資材の呼称が、メーカーごとに独自の呼び名でバラバラに使われているため、平成14年度に副資材発注書上の項目の定義、及び意味を整理し、EDI取引に向けて「副資材種別商品呼称コード表」を作成しました。(参照：58～60P)

今回、品質管理WG委員会で検討された「取扱い注意表示」は、副資材種別ではケアラベル(02)として取扱われます。



## 1.一般表示

衣料品が取り扱われるシーンごとの注意を「取扱い」と「事象」に分け、新に「～部分」を設け記載しています。  
また、副資材メーカーとのEDI取引における発注コード体系は以下のとおりです。

副資材 種別コード	商品呼称 コード	
02	01	縫付けラベル
	02	下げ札
	03	シール
	99	その他

桁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	区分	文言	キーワードNO.		取扱い・事象		～部分用語		予備	
										-

\*グレー部分は属性で選択・指示する数字を記入、「-」部はスペース

1										-
2										-

\*「区分1」は「付記用語」とし、取扱い絵表示の真下に記載します

\*「区分2」は「取扱い注意表示」とし、表示（印字）場所の指定は各社対応とします

	1									-
	2									-

\*文言「1」で「ですます調」、「2」で「紋切り型」を指定します

### 【 発注事例 】

#### 1.付記用語（取扱いのみ）（ですます調）

洗い方	副資材 種別	商品 呼称	区分	文言	キーワードNO.		取扱い・事象		～部分用語		予備
洗い方 1-01	部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いしてください。										
発注コード 02-01-111011	02	01	1	1	1	0	1	1	-	-	-

#### 2.取扱い注意表示（取扱い+事象）（ですます調）

洗い方 1-01	部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いしてください。 洗い時の摩擦により白化、毛羽立ち、部分的な脱色が発生することがあります。										
02-01-2110112	02	01	2	1	1	0	1	1	2	-	-

#### 3.取扱い注意表示（事象+取扱い）（ですます調）

洗い方 1-04	白化や毛羽立ち、変色などが発生することがあります。 裏返して、ネットにいれて洗ってください。										
02-01-2110421	02	01	2	1	1	0	4	2	1	-	-

#### 4.付記用語（～部分指定）（紋切り型）

洗い方 1-10	皮革部分は取り外して洗うこと。										
02-01-121101037	02	01	1	2	1	1	0	1	0	3	7

#### 5.取扱い注意表示（事象+取扱い、～部分指定）（ですます調）

洗い方 1-10	色が移ることがあります。皮革部分は取り外して洗ってください。										
02-01-211102137	02	01	2	1	1	1	0	2	1	3	7

## 2. 専用表示

専用表示は事象編・素材編に分かれ、特定の事象、素材、加工、製品形態、附属などに対する取扱い注意表示を記載したものです。

使用方法は下記に示した副資材種別コード、商品呼称コード、区分、文言、キーワードNO、ケア表示までを選択して、副資材メーカーに指示します。

副資材メーカーとのコード体系は以下のとおりです。

副資材種別コード	商品呼称コード
02	01 縫付けバル
	02 下げ札
	03 シール
	99 その他

桁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	区分	文言	キーワードNO.		ケア表示	予備				
	*ケレ部分は属性で選択・指示した数字を記入、「-」部分はスペース									
	1						-	-	-	-
	2						-	-	-	-
	*「区分1」は「付記用語」とし、取扱い絵表示の真下に記載します									
	*「区分2」は「取扱い注意表示」とし、表示（印字）場所等の指定は各社対応とします									
		1					-	-	-	-
		2					-	-	-	-
	*文言「1」で「ですます調」、「2」で「紋切り型」を指定します									
						0	-	-	-	-
	*全項目選択の場合、ケア表示（6桁目）は「0」（ゼロ）とします									

### 【 発注事例 】

#### 1. 取扱い注意表示（ですます調）

	副資材種別	商品呼称	区分	文言	キーワードNO.	ケア表示	予備
水じみ 8-04	・この素材は雨や水にぬれると、しみになることがあります。 ・水じみは、スチームを掛けて修正することができます。						
02-01-218041	02	01	2	1	8 0	4 1	- - - -
02-01-218043	02	01	2	1	8 0	4 3	- - - -

#### 2. 取扱い注意表示（ですます調）

	副資材種別	商品呼称	区分	文言	キーワードNO.	ケア表示	予備
麻製品 9-01	・この素材はしわになりやすい性質があります。 ・濃色品は着用中の摩擦や汗により色移りすることがあります。 ・着用による摩擦やドライクリーニング・洗濯などの繰り返しで、白化、毛羽立ち、部分的な脱色がおおることがあります。						
02-01-219010	02	01	2	1	9 0	1 0	- - - -

\*全項目選択の場合、ケア表示（6桁目）は「0」（ゼロ）とします。

#### 3. 付記用語（紋切り型）

	副資材種別	商品呼称	区分	文言	キーワードNO.	ケア表示	予備
毛皮製品 9-33	・通常のドライクリーニング禁止。毛皮専用のクリーニング店に相談すること。						
02-01-129337	02	01	1	2	9 3	3 7	- - - -

#### 4. 取扱い注意表示（下げ札のみ指定）（ですます調）

	副資材種別	商品呼称	区分	文言	キーワードNO.	ケア表示	予備
インド綿 9-15	・摩擦によって他のものに色が移ることがありますので淡い色との重ね着には注意してください。 ・日のあたる場所に長く放置すると変色することがあります。 ・水洗いしますと多少縮みます。 ・漬け置きはさけて洗濯後脱水してすぐに干してください						
02-02-219150	02	02	2	1	9 1	5 0	- - - -

\*全項目選択の場合、ケア表示（6桁目）は「0」（ゼロ）とします。

#### 5. 取扱い注意表示（下げ札、縫付けバル同時指示）（ですます調）

	副資材種別	商品呼称	区分	文言	キーワードNO.	ケア表示	予備
経時劣化（ポリウレタン樹脂） 8-05	・合成樹脂は年月の経過とともに劣化し、剥がれたり、べたつくことがあります。 ・樹脂面への強い摩擦やもみ作用は避けください。 ・汚れ・化粧品などが付着したまま放置すると劣化を早めます。 ・風通しが良く、湿度の少ない、日のあたらない場所に折りたたまないでハンガーに吊るして保管してください。						
02-02-218050	02	02	2	1	8 0	5 0	- - - -
02-01-218050	02	01	2	1	8 0	5 0	- - - -

\*全項目選択の場合、ケア表示（6桁目）は「0」（ゼロ）とします。

「 一 般 表 示 」

で す ま す 調

- ・ 洗 い 方
- ・ 脱 水
- ・ 乾 燥
- ・ ア イ ロ ン
- ・ 着 用 ・ 手 入 れ

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	1-01	洗い方	1 部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いしてください	2 洗い時の摩擦により白化、毛羽立ち、部分的な脱色が発生することがあります。	・ウォシャブルシルク ・テンセル ・キュブラ・レーヨン(特にフィブル化加工した素材) ・顔料染め製品 ・ウールニット ・インディゴ染め製品
1	1-02	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> ブラシ洗いやワッシャーなど強い洗い方はしないでください	2 白化や毛羽立ち、顔料染め色落ちなど表面変化が発生することがあります。	・ウォシャブルシルク ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブル化加工した素材) ・顔料染め製品 ・コーティング加工品
1	1-03	洗い方	1 汚れは、丸洗いせず水や中性洗剤をつけたタオルなどでふき取ってください	2 本素材の性質上、丸洗いすると外観や風合いが変化します。	・皮革 ・毛皮 ・オイルコーティング素材 ・ポリ塩化ビニル ・塩化ビニル(中性洗剤のみ)
1	1-04	洗い方	1 裏返して、ネットにいれて洗ってください	2 白化や毛羽立ち、変色などが発生することがあります。	・絹 ・麻 ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブル化加工した素材) ・顔料染め製品また表面に飾り具のついた製品
				3 表面の飾り部分が損傷したり、他のものを傷つけたりすることがあります。	・表面にビーズ、スワロフスキーや金具類が付いた製品 ・スパンコール製品
				4 モール系の脱落や飛び出しが発生することがあります。	・モール系使用製品
1	1-05	洗い方	1 上下揃いでお求めの場合、一緒に同じ方法で洗ってください	2 上下異なる洗い方、洗い回数により色違いや風合い差を生じることがあります。	・絹製品 ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブル化加工した素材) ・顔料染め ・インディゴ染めなど、色違いや風合い差が生じやすい素材使用でスーツ、セットアップスーツ等
1	1-06	洗い方	1 面ファスナーは完全に止めて洗ってください	2 面ファスナーが素材にからみつき、毛羽立ち損傷を与え、また面ファスナーに糸くずが付着したり、製品全体の型崩れを起すことがあります。	・面ファスナー(マジックテープ <sup>®</sup> )使用製品
1	1-07	洗い方	1 本体と内側のインナーは、洗い方が異なるので別々に洗ってください	2 -	・本体とインナーの洗い方取り扱いが異なる製品
1	1-08	洗い方	1 水洗いできますが、洗濯機を使用せず手洗いしてください	2 型崩れや表面変化が発生します。	・水洗いできるが、短時間洗いや丁寧な洗い方が必要なデリケートな製品

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	1-09	洗い方	1 他の製品と一緒に洗わず、単独で洗ってください	2 毛羽が他の製品に付着したり毛羽の脱落を起こしたりします。	・アンゴラ ・撚りの甘い糸で織られた素材
				3 白化や毛羽立ち、変色などが発生することがあります。	・起毛素材 ・カットパイル素材
				4 他の製品に色移ることがあります。	・インディゴ染めや堅ろう度が低く液汚染する素材
1	1-10	洗い方	1 ~部分は取り外して洗ってください	2 色移ることがあります。	・染色堅ろう度が低く液汚染、移染が予想される付属品やパーツがついている製品
				3 服飾付属品が損傷します。	・クリスル釦 ・皮革釦 ・貝釦 ・ガラス釦
				4 本体を損傷することがあります。	・服飾付属品が物理的損傷をあたえる製品
				5 本体と同じ洗い方が出来ません。	・加工ベルト ・衿ファーなど洗えない服飾付属品
1	1-11	洗い方	1 浸け置き洗いは避けてください	2 濃色部分が淡色部分を汚染することがあります。	・綿 ・絹 ・レーヨン等反応性染料使用製品 ・ボーダー柄など濃淡色の組み合わせ素材 ・製品で汗、洗濯堅ろう度が低い素材
1	1-12	洗い方	1 蛍光増白剤配合洗剤は使用しないでください	2 生成が白くなったり、色むらが生じます。	・蛍光剤が使われていない綿、麻、レーヨンなどセルロース系素材で生成または淡色、中間色の素材
1	1-13	洗い方	1 酸素系漂白剤を使用しないでください	2 色が変化することがあります。	・含金染料使用の綿、麻、レーヨン素材
				3 もろくなり破れることがあります。	・脆(ぜい)化する可能性を指摘されている服飾付属を使用している場合

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	1-14	洗い方	1 洗濯は裏返してネットを使用してください	2 モ-ル糸の滑脱や飛びだしが発生することがあります。	・モ-ル糸使用製品
				3 表面の飾り部分が損傷したり、他のものを傷つけたりします。	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ-
				4 白化や毛羽立ち、変色などが発生することがあります。	・絹 ・麻 ・テンセル ・綿の濃色品
1	1-15	洗い方	1 すすぎは十分に行ってください	2 はっ水、透湿性が低下します。	・超高密度生地製品 ・はっ水透湿性製品 ・はっ水・防水加工品
				3 色むらが発生することがあります。	・ラミネ-ト製品 ・コ-ティング製品
				4 かさだかが低下することがあります。	・ダウン製品 ・中わた製品
				5 ベとつきが発生することがあります。	・オイルクロス
1	1-16	洗い方	1 濡れた状態での放置は避けてください	2 色泣きが発生することがあります。	・濃淡の配色製品 ・濃淡のプリント製品
1	1-17	洗い方	1 ウェットクリーニング可(家庭洗いは出来ませんが、クリーニング店のウェットクリーニングが出来ます)	2 汗しみなど水溶性の汚れを取り除くことができます。	・商業ウェットクリーニング対象品 ・綿 ・麻
1	1-18	洗い方	1 クリーニングは専門業者に出してください	2 硬化することがあります。	・皮革 ・毛皮
1	1-19	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> フッ素系の使用は避けてください	2 プリントが消失します。	・特殊プリント加工
				3 ボンディングが剥離することがあります。	・ボンディング製品 ・ラミネ-ト製品
1	1-20	洗い方	1 短時間で洗ってください	2 外観変化・風合い変化することがあります。	・オイルクロス ・コ-ティング製品 ・モ-ル糸使用製品 ・絹 ・麻 ・テンセル
				3 変色することがあります。	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ-
1	1-21	洗い方	1 洗濯時はネットを使用してください	2 モ-ル糸の滑脱や飛び出しが発生したり、他のものに引っ掛かったりすることがあります。	・モ-ル糸使用製品
				3 表面の飾り部分が損傷したり、他のものを傷つけたりします。	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ- ・レ-ス ・フリル ・コ-ティング製品
				4 白化や毛羽立ちが発生することがあります。	・絹 ・麻 ・テンセル

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	1-22	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 弱洗いをお願いします	2 表面変化や収縮することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンゴラ</li> <li>・カシミア</li> <li>・ラム</li> <li>・パイル編み</li> <li>・モ-ル系使用製品</li> <li>・リボンヤ-ン</li> </ul>
				3 プリントが脱落したり、色が変わることがあります。	
1	1-23	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 水分には注意してください	2 収縮することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンゴラ</li> <li>・カシミア</li> <li>・ラム</li> <li>・強撚使用製品</li> </ul>
1	1-24	洗い方	1 淡色のものとは別に洗ってください	2 移染が発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濃色製品 (水洗い品を想定)</li> </ul>
				3 洗液が汚染することがあります。	
1	1-25	洗い方	1 -	2 水洗いで収縮することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強撚(アイロンで回復可能なもの)</li> </ul>
1	1-26	洗い方	1 長時間の流水すぎは避けてください	2 水道水に含まれる塩素により変色することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリアセートなど塩素に弱い素材</li> <li>・インディゴ染め製品</li> </ul>
1	1-27	洗い方	1 再び水加工をしてください	2 洗濯後、はっ水効果がなくなります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっ水加工製品</li> </ul>
1	1-28	洗い方	1 柔軟剤は使用しないでください	2 縫目滑脱が発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減量加工素材を使用した製品</li> </ul>
1	1-29	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 石油系ドライクリーニングは避け、ウエットクリーニングをしてください	2 溶剤が残留しやすく、きわつき現象を起すことがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶剤が抜けにくいコーティング、ボンディング素材製品</li> <li>・ダウン製品</li> </ul>
1	1-30	洗い方	1 必ずドライクリーニングをしてください	2 水洗いにより縮み、型崩れ、外観・風合変化、および変色などが発生します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洗い不可製品</li> </ul>
1	1-31	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> ドライクリーニングは避けて水洗いしてください	2 外観変化・風合い変化することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オイルコーティング</li> </ul>
1	1-32	洗い方	1 水洗いの際、中性洗剤をしましょう	2 外観変化・風合い変化することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽毛製品</li> <li>・グリッター</li> <li>・ラメ製品</li> <li>・水洗い可能な絹、毛、トリアセート製品</li> </ul>

一般表示  
(2) 脱水

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	2-01	脱水	1 <クリーニング店へのお願い> 脱水を充分に行ってください	2 溶剤残留による、きわつきが発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品</li> <li>・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
1	2-02	脱水	1 洗濯後、十分に脱水して乾燥してください	2 溶剤残留による、きわつきが発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品</li> <li>・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
1	2-03	脱水	1 洗濯後は直ちに脱水して干してください	2 濡れたまま放置すると、色落ちすることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン 濃淡の配色、濃色プリント</li> <li>・洗濯堅ろう度、汗堅ろう度の低い製品</li> </ul>
1	2-04	脱水	1 遠心脱水は避けてください	2 水を通しにくく脱水時に洗濯機の異常振動を引き起こす可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・高密度織物</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
				3 脱水しわが残ることがあります。	・綿、麻、レーヨン
1	2-05	脱水	1 遠心脱水は短めにしてください	2 脱水しわが残ることがあります。	・綿、麻、レーヨン
1	2-06	脱水	1 洗濯、すすぎ後の脱水に注意してください	2 水を通しにくく脱水時に洗濯機の異常振動を引き起こす可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・高密度織物</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
				3 脱水しわが残ることがあります。	・綿、麻、レーヨン



一般表示  
(3) 乾燥

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	3-01	乾燥	1 形を整えて二つ折りにして 吊干してください	2 吊干しの際、自重により伸びることがあります。	・ニット、カットソー素材 ・ローゲージのニット ・よこ地使いのニット ・吊干しで伸びる製品
1	3-02	乾燥	1 形を整えて板の上に平干しにしてください	2 吊干しの際、自重により伸びや型崩れが生じることがあります。	・ニット、カットソー素材 ・ローゲージのニット ・よこ地使いのニット ・吊干しで伸びる製品
1	3-03	乾燥	1 形を整えて干してください	2 洗濯により収縮やねじれ、型崩れすることがあります。	・ニット、カットソー製品 ・クレープなど収縮の大きい製品
1	3-04	乾燥	1 タンブル乾燥機を使用しないでください	2 収縮することがあります。	・ポリウレタン弾性系使い ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・毛、絹など強撚系使い ・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット ・カットソー製品
				3 毛羽立ちやピリングが生じることがあります。	・起毛素材 ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 白っぽくなることがあります。	・インディゴ染め製品 ・顔料染め ・絹、綿、麻の濃色品
				5 外観変化や損傷が生じることがあります。	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工 ・プリント製品
				6 表面変化が生じることがあります。	・起毛素材 ・セルロース系高混率のジャージ、ニット ・カットソー製品
				1	3-05
1	3-05	乾燥	1 衣類乾燥機を使用しないでください	3 毛羽立ちやピリングが生じることがあります。	・起毛素材 ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 白っぽくなることがあります。	・インディゴ染め製品 ・顔料染め ・絹、綿、麻の濃色品
				5 外観変化や損傷が生じることがあります。	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工 ・プリント製品
				6 表面変化が生じることがあります。	・起毛素材 ・セルロース系高混率のジャージ、ニット ・カットソー製品

一般表示  
(3) 乾燥

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	3-06	乾燥	1 <クリーニング店へのお願い> 静置乾燥機を使用してください	2 タンブル乾燥により収縮することがあります。	・ウレタン弾性系使い ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・毛、絹など強撚系使い ・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット ・カットソー製品
				3 タンブル乾燥時の摩擦により毛羽立ちやピリングが生じることがあります。	・起毛素材 ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 タンブル乾燥時の摩擦により白っぽくなるがあります。	・インディゴ染め製品 ・顔料染め ・絹、綿、麻の濃色品
				5 タンブル乾燥時の摩擦により外觀変化や損傷が生じることがあります。	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工 ・プリント製品
				6 タンブル乾燥時の摩擦により表面変化が生じることがあります。	・起毛素材 ・セルロース系高混率のジャージ、ニット ・カットソー製品
				1	3-07
1	3-07	乾燥	1 自然乾燥してください	3 タンブル乾燥時の摩擦により毛羽立ちやピリングが生じることがあります。	・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 タンブル乾燥時の摩擦により外觀変化や損傷が生じることがあります。	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工
				5 タンブル乾燥時の摩擦により表面変化が生じることがあります。	・デリケートな風合いの獣毛品等
				6 タンブル乾燥時の摩擦によりプリーツが消失する恐れがあります。	・クリスタルプリーツ
1	3-08	乾燥	1 タンブル低温乾燥してください	2 高温のタンブル乾燥では収縮することがあります。	・アクリル長繊維製品 ・ウレタン弾性系使い
1	3-09	乾燥	1 乾燥は十分に行ってください	2 溶剤残留による、きわつきが発生することがあります。	・合成皮革 ・コーティング ・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品 ・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング ・中綿、ダウン製品
1	3-10	乾燥	1 タンブル乾燥してください	2 溶剤残留による、きわつきが発生することがあります。	・中綿、ダウン製品

一般表示  
(4) アイロン

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	4-01	アイロン	1 アイロンは裏側から軽くあててください	2 アタリやテカリ、毛倒れが発生します。	・別珍 ・コーデュロイ ・ベルベット ・フロッキー
1	4-02	アイロン	1 ~部分のアイロンは低温で行なってください	2 アイロンの熱で硬化、溶融します。	・合成皮革 ・人工皮革 ・ラバープリント ・転写プリント ・アクリル混素材の部分使い
1	4-03	アイロン	1 <クリーニング店へのお願い> 人体プレス・スチームトンネルを使用しないで下さい	3 収縮したり、表面に凹凸が発生することがあります。	・絹製品 ・ポリウレタン弾性系使い
				3 プリーツセットが弱くなります。	・プリーツ製品
1	4-04	アイロン	1 ~部分にアイロンを掛けしないでください	2 アイロンの熱で硬化、溶融します。	・合成皮革 ・人工皮革 ・毛皮 ・フェイクファー ・コーティング ・プリント ・スパンコール ・ビーズ
1	4-05	アイロン	1 スチームアイロンは浮かして掛けてください	2 毛倒れや毛羽乱れ等の表面変化を生じることがあります。	・別珍 ・コーデュロイ ・ベルベット ・起毛素材 ・ふくれ織
1	4-06	アイロン	1 スチームを使用しないでください	2 収縮や外観変化が発生することがあります。	・絹 ・スリット系 ・起毛素材 ・レーヨンベルベット
1	4-07	アイロン	1 ~部分にスチームを使用しないでください	2 収縮や外観変化が発生することがあります。	・絹 ・スリット系 ・起毛素材 ・レーヨンベルベット
1	4-08	アイロン	1 アイロンの際は軽く折目をつけてください	2 擦り切れやすい素材です。	・モヘヤ
1	4-09	アイロン	1 アイロン掛けはスチームを少なめに行ってください	2 表面変化が発生することがあります。	・レーヨンベルベット
1	4-10	アイロン	1 着用の伸びはスチームで修正してください	2	・揚柳 ・ローゲージニット
1	4-11	アイロン	1 霧吹きをしないでください	2 水じみが発生することがあります。	・絹 ・レーヨン ・アセテート ・セルロース系高混率のチンツ加工素材 ・ビーバー仕上げ毛織物
1	4-12	アイロン	1 <クリーニング店へのお願い> 洗濯後の濡れ掛けプレスはしないでください	2 襟やカフスが収縮することがあります。	・トップヒューズ芯使いのワイシャツ
1	4-13	アイロン	1 水じみは全体に霧を吹きアイロンを掛けると目立たなくなります	2 雨や水などに濡れるとシミのような跡が残ることがあります。	・レーヨン ・キュプラ ・起毛製品
1	4-14	アイロン	1 ~部分には当て布をしてアイロンをかけてください	2 外観変化が発生することがあります。	・プリント等加工素材 ・コーティング
1	4-15	アイロン	1 ~部分はスチームで浮かしアイロンしてください	2 外観変化が発生することがあります。	・起毛素材

一般表示  
(5)着用・手入れ

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	5-01	着用・手入れ	1 ブラシで毛並みを整えてください	2 着用中の摩擦や洗濯により毛羽が乱れることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 毛足長の生地</li> <li>・ カットパイル</li> <li>・ 別珍</li> <li>・ コーデュロイ</li> <li>・ ベルベット</li> <li>・ シャギー</li> <li>・ モール糸使用品</li> <li>・ フリース</li> <li>・ 極細繊維</li> </ul>
				3 着用中の摩擦や洗濯により毛羽立ち、ピリングが生じることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・ 甘燃り糸使用製品</li> <li>・ 合成繊維混用製品</li> <li>・ 紡毛ニット</li> </ul>
				4 着用中の摩擦や洗濯により表面の毛足が倒れ、変色したように見えることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 毛皮、フェイク・ファー</li> <li>・ 別珍</li> <li>・ ベルベット</li> <li>・ コーデュロイ</li> </ul>
				2 素材の特性上、ほこりが付きやすくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 極細繊維</li> </ul>
1	5-02	着用・手入れ	1 ほこりが付着した際はテープやブラシで除去してください	2 素材の特性上、ほこりが付きやすくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 極細繊維</li> </ul>
1	5-03	着用・手入れ	1 ブラッシングや毛玉取り器でお手入れしてください	2 着用中の摩擦や洗濯により毛羽立ち・毛玉が生じることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ 獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・ 甘燃り糸使用製品</li> <li>・ 合成繊維混用製品</li> <li>・ 紡毛ニット</li> </ul>
1	5-04	着用・手入れ	1 毛羽が他に付着した際はテープやブラシで除去してください	2 素材の特性上、着用中に他のものに毛羽や毛玉が付くことがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・ 起毛素材</li> <li>・ モール糸使用品</li> <li>・ フリース</li> <li>・ 裏毛起毛品</li> <li>・ 人工皮革</li> <li>・ スエード</li> </ul>
1	5-05	着用・手入れ	1 しみはこすらないでください	2 摩擦により白化や毛羽立ちが生じることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絹</li> <li>・ レーヨン</li> <li>・ 麻</li> <li>・ テンセル</li> </ul>
1	5-06	着用・手入れ	1 しみ抜き剤は使用しないでください	2 しみ抜き剤により色落ちすることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顔料染め</li> <li>・ ドライ堅ろう度が低い水洗い製品</li> </ul>
1	5-07	着用・手入れ	1 皮革油で手入れしてください	2 洗濯により硬化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皮革</li> <li>・ オイルクロス</li> </ul>
				3 湿度の多い場所に保管するとカビが発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皮革</li> </ul>
1	5-08	着用・手入れ	1 汗は水洗いで速やかに除去してください	2 汗が付着した状態で日光や蛍光灯の影響を受けると変色の原因になります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 綿、麻、レーヨン</li> <li>・ 屋外での苛酷な着用が予測されるセルロース系の製品</li> <li>・ 白、淡色のコーティング素材</li> </ul>
1	5-09	着用・手入れ	1 汗や汚れが付着した場合は早めにお手入れしてください	2 汗に濡れると色が落ちることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汗堅ろう度が低い製品</li> <li>・ ウォッシュャブルシルク</li> </ul>

一般表示  
(5)着用・手入れ

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	5-10	着用・手入れ	1 淡い色との重ね着には注意してください	2 摩擦によって他のものに色が移ることがあります	・麻濃色 ・レーヨン、キュプラ濃色 ・インディゴ ・顔料 ・天然皮革
1	5-11	着用・手入れ	1 できるだけ同色のものと組み合わせ着用するようにしてください	2 着用中に毛羽が脱落したり、付着したりすることがあります	・モール系 ・フロック加工
1	5-12	着用・手入れ	1 色移りした場合はすぐに洗濯してください	2 摩擦によって他のものに色が移ることがあります	・顔料 ・インディゴ
1	5-13	着用・手入れ	1 引っかきに注意してください	2 組織の特性上、先の尖ったものや、ざらついたものに引っかかり、糸が飛び出すことがあります	・浮きの多い編、織組織、刺繍の施された製品
1	5-14	着用・手入れ	1 縫目、開きに注意してください	2 縫目に過度の力が加わると、縫目が開いてしまうことがあります	・縫目滑脱が発生する恐れのある製品

一般表示  
(6) 保管

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(ですます調)	適用(例)
1	6-01	保管	1 湿気が少なく通気のよい場所に保管してください	2 カビ、臭気の付着、劣化などが発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮革</li> <li>・毛皮</li> <li>・ボンディング</li> <li>・ラミネート素材</li> <li>・合成皮革</li> <li>・人工皮革</li> <li>・ダウン製品</li> </ul>
1	6-02	保管	1 湿気を避けて保管してください	2 カビ、臭気の付着、劣化などが発生することがあります。	
1	6-03	保管	1 汚れがついたままの状態や湿度の高い場所での保管は避けてください	2 カビ、臭気の付着、劣化などが発生することがあります。	
1	6-04	保管	1 光の当たらない場所に保管してください	2 色あせや変色することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絹</li> <li>・ポリウレタン</li> <li>・アセテート</li> <li>・ブリーチ加工デニム</li> <li>・ウール抜染プリント品</li> <li>・皮革</li> <li>・毛皮製品</li> <li>・合成皮革</li> <li>・人工皮革</li> </ul>
1	6-05	保管	1 ハンガー掛けでの保管はしないでください	2 自重による伸びが発生します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリーツ製品、ローゲージのニットやレーヨン素材等</li> <li>自重伸びしやすい製品</li> </ul>
1	6-06	保管	1 ハンガー掛けで保管してください	2 毛倒れやしわが発生することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レーヨンベルベット</li> </ul>

「専用表示」  
事象編

ですます調

専用的に使用される注意表示（事象編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	8-01	表面フラッシュ	1	表面に毛羽があるため、炎を近づけると火が走ることがあります。
			2	着用には際してはガスレンジの炎や、ライター - の炎を等に近づかないようご注意ください。
1	8-02	皮膚刺激（チクチク感のある製品。獣毛混、麻、特殊加工製品等）	1	この商品は素材の特性上、素肌に直接触れる箇所に刺激を感じることがあります。
1	8-03	プレス当たり	1	濃色品及び、凹凸部分のアイロン掛けはあたりが出やすいので当て布をし、強く押さえないでください。
1	8-04	水じみ	1	この素材は雨や水にぬれると、しみになることがあります。
			2	水洗い表示製品の場合は、水洗いで除去できます。
			3	水じみは、スチームを掛けて修正できることがあります。
1	8-05	経時劣化（ポリウレタン樹脂）	1	合成樹脂は年月の経過とともに劣化し、剥がれたり、べたつくことがあります。
			2	樹脂面への強い摩擦やもみ作用はお避けください。
			3	汚れ・化粧品などを付着したまま放置すると劣化を早めます。
			4	風通しが良く、湿度の少ない、日のあたらない場所に折りたたまないでHガ-に吊るして保管してください。
1	8-06	溶剤残留	1	ドライクリーニング後、溶剤の残った状態で着用すると、皮膚を刺激し、炎症の原因になることがあります。
			2	クリーニング後はビニールカバーをはずし、風通しのよいところで充分乾燥してください。特に溶剤の臭いがする状態では着用しないでください。
1	8-07	色移り	1	濃色品は着用中の摩擦や汗により色移りすることがあります。
			2	淡い色との重ね着には注意してください。
			3	できるだけ同色のものと組み合わせて着用するようにしてください。
			4	色移りした場合はすぐに洗濯してください。
			5	他の製品と一緒に洗わず、単独で洗ってください。
			6	淡色のものとは別に洗ってください。



専用的に使用される注意表示（事象編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	8-08	摩耗白化	1	着用による摩擦や洗濯の繰り返して、白化、毛羽立ち、部分的な脱色が起こることがあります。
			2	部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いしてください。
			3	<クリーニング店へのお願い> ブラシ洗いやワツシャーなど強い洗い方はしないでください。
			4	裏返して、ネットに入れて洗ってください。
			5	タンブル乾燥機を使用しないでください。
			6	衣類乾燥機を使用しないでください。
			7	しみは、こすらないでください。
1	8-09	毛羽付着	1	強く摩擦すると表面の毛羽が脱落したり、付着したりすることがあります。
			2	着用により毛羽が付着することがあります。
			3	他の製品と一緒に洗わず、単独で洗ってください。
			4	毛羽が他に付着した際はテープやブラシで除去してください。
1	8-10	バブリング	1	雨などで濡れますと織物表面が凸凹状になったり波状のシワが発生しますが、アイロンを掛けると直ります。
1	8-11	ナイロン系の溶融	1	ナイロン系は熱に弱く、高温アイロンで溶融し生地が破れることがあります。
			2	アイロンがけは低温で行ってください。

「専用表示」  
素材編

ですます調

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-01	麻製品	1	この素材はしわになりやすい性質があります。
			2	濃色品は着用中の摩擦や汗により色移りすることがあります。
			3	着用による摩擦やドライクリーニング・洗濯などの繰り返して、白化、毛羽立ち、部分的な脱色がおこることがあります。
1	9-02	アセテート、トリアセテート	1	濃色品は石油ストーブの燃焼ガスや車の排気ガスによって変色することがあります。
			2	石油ストーブを長時間使用する部屋や車の排気ガスのたまりやすい場所に保管しないでください。
			3	湿気が少なく通気の良い場所に保管してください。
1	9-03	絹製品	1	着用や洗濯の際「すれ」や摩擦による毛羽立ち・白化に注意してください。
			2	最初から毛羽立たせた素材は毛羽の脱落による色変化に注意してください。
			3	化粧品や汗、水などによる色落ち・きわじみに注意してください。
			4	洗濯やしみ抜きは必ずクリーニング店に出してください。
			5	保管の際、直射日光や蛍光灯による長時間の光での変色に注意してください。
1	9-04	ウォッシュアブルシルク	1	着用や洗濯の際「すれ」や摩擦による毛羽立ち・白化に注意してください。
			2	最初から毛羽立たせた素材は毛羽の脱落による色変化に注意してください。
			3	化粧品や汗、水などによる色落ち・きわじみに注意してください。
			4	保管の際、直射日光や蛍光灯による長時間の光での変色に注意してください。
			5	洗濯は中性洗剤を使用し単品で軽く押し洗いしてください。
1	9-05	レーヨン・キュブラ	1	着用や洗濯の摩擦により毛羽立ちが発生したり色が白っぽく見えることがあります。
			2	濃色品は着用中の摩擦や汗により色移りすることがあります。
			3	雨や水などに濡れるとシミのような跡が残ることがありますが全体に霧を吹きアイロンを掛けると目立たなくなります。
1	9-06	獣毛混、甘撚り、起毛	1	この商品は特有のソフトでなめらかな風合いが特徴ですが表面の毛羽が他の物に付着することがあります。
			2	連日着用は避けてください。
			3	繊維がからみついた際はブラシなどでほぐしてください。
			4	毛玉は毛玉取り器またはハサミで丁寧にカットしてください。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-07	テンセル	1	摩擦に弱い性質があります。特に濡れた状態で強く摩擦されると色が変わります。
			2	着用や洗濯の繰り返しで色むらや毛羽立ちが徐々に発生します。
			3	水や汗に濡れると濡れた部分がかたくなり、しみ状に見える場合がありますが乾くと元の風合いに戻ります。
			4	洗濯は素材表面を傷つけないために裏返しにしてください。
			5	洗濯により多少縮むこともありますが当て布をし伸ばし気味にアイロンを掛けると目立たなくなります。
			6	上下揃いで購入の際は色差を防ぐために一緒に洗濯してください。
			7	水じみができやすいので注意してください。
1	9-08	インディゴ	1	摩擦によって他のものに色が移ることがありますので淡い色との重ね着には注意してください。
			2	他の衣類に色が移った場合は着色した衣類の取扱い表示に従って洗濯してください。
			3	着用や洗濯を繰り返すことにより色が徐々に脱落し白っぽくなります。
			4	洗濯は単独で洗い水道水の注水放置（すすぎなど）は避けてください。
			5	洗濯後直ちに形を整えて干してください。
			6	タンブル乾燥機の使用は避けてください。
			7	淡色品は紫外線や湿度の影響で黄変することがあります。軽度の黄変は洗濯で回復します。
			8	上下揃いで購入の際は色差を防ぐために一緒に洗濯してください。
1	9-09	草木染め	1	この商品の生地は天然の草木を使って染色しています。洗濯は中性洗剤を使用してください。柔軟剤、酸素系漂白剤は避けてください。
1	9-10	顔料	1	この商品は染色に顔料を使用しています。顔料染色特有の色合いが特徴です。
			2	着用中摩擦で他のものに色が移ることがあります。
			3	インナーやランジェリーなどに色移りした場合はすぐに洗濯してください。
			4	取扱い表示を必ず確認し表示どおりの洗濯をしてください。
			5	洗濯を繰り返すことにより全体的に白っぽくなります。
			6	部分的にもみ洗いやブラシ洗いをするとその部分の脱色が目立つことがあります。
			7	洗濯は裏返して単品洗いしてください。
			8	タンブル乾燥機の使用は避けてください。
1	9-11	モール糸	1	糸の特性上、毛羽が抜けやすく重ね着したものに付着することがあります。
			2	着用時ベルトやバッグなどとの摩擦や引っ掛けに注意してください。
			3	着用によってモール糸の表面が押さえられ光沢が変化して見えた場合、浮かしアイロンでスチームを当てて修正してください。
			4	ニット商品で糸が浮いたり飛び出したりした場合、その部分を中心にしてたて・よこ・斜めに引っ張り、その糸を徐々に裏側に引っ込めてください。
			5	洗濯の際、糸が飛び出すことがありますので、やわらかいメッシュ状のネットを使用してください。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-12	ネップ糸	1	この商品はネップ糸を用いた生地を使用しています。着用の際、他のものこすられますとネップが起き上がることがあります。
			2	ネップ糸：ネップ(繊維の小さなかたまり)を入れて作った飾糸。
1	9-13	金属系（スリット系）	1	変色する場合がありますのでパーマ液など薬剤の付着に注意してください。
			2	保管の際、他の毛、絹、ゴム製品との接触は避けてください。
			3	湿気が少なく通気のよい場所に保管してください。
			4	汗や汚れを付着させたままの保管は避けてください。
			5	防虫剤の取扱い注意表示をよく読み種類にして衣服に直接触れないように保管してください。
1	9-14	フリース	1	この素材は着用中の摩擦や洗濯などにより素材表面が乱れることがありますが、ブラッシングで多少回復します。
1	9-15	インド綿	1	摩擦によって他のものに色移ることがありますので淡い色との重ね着には注意してください。
			2	日のあたる場所に長く放置すると変色することがあります。
			3	水洗いしますと多少縮みます。
			4	漬け置きはさけて洗濯後脱水してすぐに干してください。
1	9-16	楊柳	1	この商品は雨など水に濡れると濡れた箇所が縮みます。
			2	この商品は凹凸を伸ばさないように軽くアイロンをかけて表面状態を回復してください。
1	9-17	マイクロファイバー	1	この商品はマイクロファイバーを用いた生地を使用しています。ソフトな風合いを出すため表面起毛加工を行っていますので摩擦頻度の多い部位の毛並みが乱れたりして、すり切れたかのように見えることがありますがブラッシングで元に戻ります。
			2	マイクロファイバーは汚れを吸着しやすい性質がありますので早めに洗濯してください。
1	9-18	ペロア、ベルベット	1	毛並みに方向性があるため着用中にねじれたり裾や袖口が上がってくることがあります。特に上から着用するフィット性のあるものほど顕著になりますので注意してください。
			2	素材の特性上、毛が抜けることがあります。
1	9-19	オパール加工	1	この商品はオパール加工品（繊維の一部を溶かし、すかし模様を出す加工法）です。
			2	加工の特性上、強い摩擦により細かい繊維が脱落することがあります。
			3	<クリーニング店へのお願い> デリケート素材ですので洗濯はソフトなネットに入れるなど十分に注意してください。
1	9-20	エンボス加工	1	この商品はエンボス加工品（表面に凹凸を施し独特の風合いを出す加工法）です。
			2	仕上げの際はアイロンを浮かしぎみに掛けてください。
			3	凹凸は永久的なものではなく着用や洗濯を繰り返すことにより減少します。
			4	過度の摩擦や圧迫で凹凸が乱れたり減少することがあります。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-21	フロック加工	1	この商品はフロック加工品（生地表面に細かく短い繊維を毛羽状に植え付ける加工法）です。
			2	強く摩擦すると表面の毛羽が脱落したり、付着したりすることがあります。
			3	連続着用は避け、できるだけ同色のものと組み合わせて着用するようにしてください。バックなどの持ち物にも注意してください。
			4	裏返してネットに入れ洗濯してください。
			5	アイロンは低温で当て布をして軽く押さえる程度に掛けてください。あるいはスチームアイロンを軽く浮かして掛けてください。
			6	素材の特性上、年月の経過とともに樹脂が劣化しパイルが脱落します。
			7	<クリーニング店へのお願い> ドライクリーニングは石油系以外の溶剤は使用しないでください。
1	9-22	シワ加工	1	クリーニング店に出す際はシワ加工であることをお申し出ください。
			2	しわの保持性は永久的なものではなく着用や洗濯で徐々に消失します。
			3	高温のアイロンやスチームの使用は避けてください。
1	9-23	絞りプリーツ加工	1	プリーツは着用や洗濯の繰り返しで多少伸びます。
			2	洗濯は単品洗いで脱水は20秒位にしてください。
			3	プリーツ部分にはアイロンを掛けしないでください。
			4	保管の際、ハンガーにかけずにたたんで置いてください。上には他の衣類をのせないでください。
			5	<クリーニング店へのお願い> スチームトンネルや蒸気吹き出しタイプの人体プレスは避けてください。
1	9-24	オイルコーティング	1	この商品は表面に特殊加工を施しています。摩擦されますとスレのような状態（チョークマーク）が見られますが、この織物の特性として理解してください。またドライクリーニングは避けて水洗いしてください。
1	9-25	はっ水加工	1	はっ水(水をはじく)加工をしています。完全防水ではありませんので強い雨に注意してください。
			2	ドライクリーニング後、はっ水効果が低下しますので、はっ水加工を依頼してください。または市販の、はっ水スプレーを使用してください。
			3	<クリーニング店へのお願い> フッ素系の溶剤は避けてください。
1	9-26	むら染め加工	1	この商品は洗い落とし感覚のむら染め加工を施しています。表面の色むらは生地の欠点ではなく加工により特殊感覚を出したものです。
1	9-27	羽毛製品（水洗い可）	1	羽毛の特性低下を防ぐため中性洗剤で水洗い（手洗い）してください。
			2	この商品はタンブル乾燥をお勧めします。吊り干しの際は十分に乾燥させた後、片寄ったダウンを手でたたいて均等にしてください。
			3	油性の汚れなど水洗いで落ちにくい場合は石油系ドライクリーニングをしてください。
			4	<クリーニング店へのお願い> パークロロエチレンによるドライクリーニングは絶対にしないでください。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-28	羽毛製品（水洗い不可）	1	家庭での洗濯は非常に難しいため専門のクリーニング店に出してください。
			2	パークロロエチレンによるドライクリーニングは絶対に避けてください。
			3	ドライクリーニングはきれいな溶剤を使用し、適正なソ - プ濃度で洗ってください。
			4	裏返しにして十分に脱液してください。
			5	乾燥の初期は常温のタンブル乾燥を行なってください。
1	9-29	人工皮革製品	1	着用の際、バッグやベルトなど、かたいものとのすれに注意してください。光沢の低下や傷、コーティング剥離の原因になります。
			2	洗濯は取扱い絵表示に従ってください。
			3	汚れが付着したまま保管すると変色やコーティング剥離の原因になります。洗濯してから保管してください。
			4	スウェードタイプのは汚れ落としのとき部分的に強くこすらないでください。また表面の毛羽乱れはブラッシングをして毛並みを整えてください。
			5	ドライクリーニング後は溶剤によるやけどを防ぐため必ずカバーを外して風乾してください。
			6	人工皮革部分にアイロンを掛けしないでください。
			7	光が当たる場所や高温多湿での保管は避けてください。
			8	たたむなど密着状態での保管は避け、時々風通しをしてください。
			9	表面の樹脂は年月の経過とともに劣化します。
1	9-30	合成皮革製品	1	光沢の低下や傷、コーティング剥離の原因になりますので着用の際、バッグやベルトなど、かたいものとのすれに注意してください。
			2	取扱い絵表示に従ってください。
			3	汚れが付着したまま保管すると変色やコーティング剥離の原因になります。洗濯してから保管してください。
			4	スウェードタイプのは汚れ落としのとき部分的に強くこすらないでください。また表面の毛羽乱れはブラッシングをして毛並みを整えてください。
			5	ドライクリーニング後は溶剤によるやけどを防ぐため必ずカバーを外して風乾してください。
			6	合成皮革部分にアイロンを掛けしないでください。
			7	光が当たる場所や高温多湿での保管は避けてください。
			8	たたむなど密着状態での保管は避け、時々、風通しをしてください。
			9	表面の樹脂は年月の経過とともに劣化します。
1	9-31	塩化ビニル樹脂製品	1	軟化したり溶ける恐れがありますのでストーブなどの火や熱に注意してください。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）
1	9-32	天然皮革製品	1 洗濯（ベンジンを用いる場合を含む）または水洗いをするとう革の色が落ち、革が硬化する恐れがあります。重ね置きしないで温度、湿度が低くかつ通気のよい場所に保管してください。特に梅雨時は陰干ししてください。革の汚れを落とす際は革製衣料専用のクリーナーを使用してください。アイロンは掛けしないでください。
			2 摩擦によって他のものに色が移ることがありますので淡い色との重ね着には注意してください。
			3 洗濯は皮革専門業者に出してください。
1	9-33	天然毛皮製品	1 連続着用は避け、着用後は軽くたたいてほこりをはらい風通しのよい場所で陰干ししてください。
			2 着用による毛並みの乱れは軽くブラッシングをして整えてください。
			3 雨など水に濡れた際は乾いたタオルで拭き陰干ししてください。
			4 簡単な汚れは濡らしたタオルをきつく絞って軽く拭き陰干ししてください。しみをつけた際も同様ですが早めに毛皮専門のクリーニング店にご相談ください。（しみの種類によっては、とれないこともあります。）
			5 毛皮を折り曲げず薄手の木綿または衣装ケースに防虫剤を入れ、ゆったりと湿気の少ない場所で保管してください。
			6 毛皮にしわや折目がついた場合は温かい蒸しタオルで毛並みにそって軽く拭き風通しのよい場所で陰干ししてください。
			7 通常のドライクリーニングはできません。毛皮専門のクリーニング店に相談してください。
1	9-34	フェイクファー製品	1 <クリーニング店へのお願い> フェイクファーは石油系溶剤で短時間処理して静置乾燥機を使用してください。
			2 フェイクファー部分のアイロンやスチームは避けてください。
1	9-35	グリッター	1 この商品は素材表面にラメ粒子(グリッター)を付着させて輝きを出しています。
			2 着用や洗濯を繰り返すことによりラメ粒子が徐々に脱落していきます。
			3 熱に弱いのでアイロンは絵表示を確認して掛けてください。
			4 汗が付着したまま放置すると光沢が消失することがありますので早めに手入れしてください。
			5 水洗い可能な商品は中性洗剤を使用し裏返して短時間洗いしてください。
1	9-36	ビーズ・スパンコール	1 着脱の際、引っ掛けによる糸の切断に注意してください。
			2 洗濯の際、ソフトなネットを使用してください。
			3 装飾部分への直接のアイロン掛けやタンブル乾燥機の使用は避けてください。
1	9-37	ラインストーン	1 この商品はデリケートなラインストーンの装飾物を使用していますので着脱の際の引っ掛けに注意してください。
			2 洗濯の繰り返しにより脱落することがあります。
			3 洗濯の際、他の衣類との引っかかり防止のためソフトなネットを使用してください。
			4 装飾部分への直接のアイロン掛けやタンブル乾燥機使用は避けてください。



専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（ですます調）	
1	9-38	ラメ製品	1	汗が付着したまま放置すると光沢が消失することがありますので早めに手入れしてください。
			2	水洗いの際中性洗剤を使用してください。
			3	ポリエチレンなどの袋に入れたまま保管しないでください。
1	9-39	発泡・ラバープリント	1	プリント材料に発泡剤またはラバーを使用しています。
			2	着用や洗濯の繰り返しでプリント部分がひび割れたり脱落することがあります。
			3	保管の際、プリント部分に他のものが当たらないように注意してください。
			4	プリント部分のもみ洗いやタンブル乾燥機の使用は避けてください。
			5	手絞りは軽く、脱水はプリント同士が付かないようにして短時間でこなしてください。
			6	プリント部分のアイロンは避けてください。
1	9-40	製品洗い	1	製品での洗い加工のため一点一点に微妙な色、サイズ、風合いなどの違いがあります。
1	9-41	バイアス使い	1	この商品の表素材はバイアス(斜め)使いをしていますので袖や着丈が若干伸びることがあります。洗濯後のアイロンは押さえるように掛けてください。
			2	<クリーニング店へのお願い> 仕上げの際「機械仕上げ」は避けて「手仕上げ」を行なってください。
1	9-42	強撚素材	1	雨などに濡れますと織物表面がシボ状になったり波状のシワが発生しますがアイロンを掛けると直ります。
			2	この商品は強撚糸を使用しています。水洗いで若干の収縮が起こりシワが発生しますがスチームアイロンで修正できます。
1	9-43	浮きの多い編・織組織、刺繍のある製品、ドビー織、ジャカード織、フィラメント系使いの製品	1	他のものとの引っかかりに注意してください。糸が飛び出すことがあります。
1	9-44	レース製品	1	洗濯の際はネットを使用してください。
			2	過度な力が加わると縫い目がひらいたり、目よれを起こすことがあります。
			3	粗い組織のものや表面に糸が浮き出ているもの、ルーズな組織のものは引っかかりやすいため、装飾品や周囲の壁などに注意してください。
			4	熱やスチームで縮むことがありますのでアイロン掛けには充分注意してください。
1	9-45	ポリウレタン系	1	ポリウレタン繊維は素材の特性上、熱によって縮みやすいため、スチームアイロンやタンブル乾燥はお避けください。
			2	年月の経過と共に劣化し、ポリウレタン糸が飛び出したり、伸縮性が失われることがあります。

# 「 一 般 表 示 」

## 紋 切 り 型

- ・ 洗 い 方
- ・ 脱 水
- ・ 乾 燥
- ・ ア イ ロ ン
- ・ 着 用 ・ 手 入 れ

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	1-01	洗い方	1 部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いすること	2 洗い時の摩擦で、白化、毛羽立ち、部分的な脱色に注意	・ウォッシュブルシルク ・テンセル ・キュブラ・レーヨン(特にフィルブル化加工した素材) ・顔料染め製品 ・ウールニット ・インディゴ染め製品
2	1-02	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> ブラシ洗いやワッシャーなど強い洗い方はしないこと	2 白化、毛羽立ち、顔料染め色落ちなど表面変化に注意	・ウォッシュブルシルク ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブリル化加工した素材) ・顔料染め製品 ・コーティング加工品
2	1-03	洗い方	1 汚れは、丸洗いせず水や中性洗剤をつけたタオルなどでふき取ること	2 本素材の性質上、外観や風合い変化するため丸洗い禁止	・皮革 ・毛皮 ・オイルコーティング素材 ・ポリ塩化ビニル ・塩化ビニル(中性洗剤のみ)
2	1-04	洗い方	1 裏返して、ネットにいれて洗うこと	2 白化、毛羽立ち、変色に注意	・絹 ・麻 ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブリル化加工した素材) ・顔料染め製品また表面に飾り具のついた製品
				3 表面飾り部分の損傷、他のものへの損傷に注意	・表面にビーズ、スワロフスキーや金具類が付いた製品 ・スパンコール製品
				4 モール系の脱落、飛び出しに注意	・モール系使用製品
2	1-05	洗い方	1 上下揃いでお求めの場合、一緒に同じ方法で洗うこと	2 上下異なる洗い方、洗い回数による色違いや風合い差、発生に注意	・絹製品 ・テンセル ・キュブラやレーヨン(特にフィブリル化加工した素材) ・顔料染め ・インディゴ染めなど、色違いや風合い差が生じやすい素材使用でスーツ、セットアップスーツ等
2	1-06	洗い方	1 面ファスナーは完全に止めて洗うこと	02 面ファスナーの素材へのからみつき、毛羽立ち損傷、面ファスナーへの糸くず付着、製品全体の型崩れに注意	・面ファスナー(マジックテープ <sup>®</sup> )使用製品
2	1-07	洗い方	1 本体と内側のインナーは、洗い方が異なるので別々に洗うこと	2 -	・本体とインナーの洗い方取り扱いが異なる製品
2	1-08	洗い方	1 水洗いできるが、洗濯機を使用せず手洗いすること	2 型崩れ、表面変化に注意	・水洗いできるが、短時間洗いや丁寧な洗い方が必要なデリケートな製品

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	1-09	洗い方	1 他の製品と一緒に洗わず、単独で洗うこと	2 毛羽の他製品への付着、毛羽脱落に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンゴラ</li> <li>・撚りの甘い糸で織られた素材</li> <li>・起毛素材</li> <li>・カットパイル素材</li> </ul>
				3 白化、毛羽立ち、変色に注意	
				4 他の製品への色移りに注意	
2	1-10	洗い方	1 ~部分は取り外して洗うこと	2 色移りに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色堅ろう度が低く液汚染、移染が予想される付属品やパーツがついている製品</li> <li>・クリスル釦</li> <li>・皮革釦</li> <li>・貝釦</li> <li>・ガラス釦</li> <li>・服飾付属品が物理的損傷をあたえる製品</li> <li>・加工ベルト</li> <li>・衿ファーなど洗えない服飾付属品</li> </ul>
				3 服飾付属品損傷に注意	
				4 本体の損傷に注意	
				5 本体と同じ洗い方不可	
2	1-11	洗い方	1 浸け置き洗いをしないこと	2 濃色部分の淡色部分への汚染に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿</li> <li>・絹</li> <li>・レーヨン等反応性染料使用製品</li> <li>・ボーダー柄など濃淡色の組み合わせ素材</li> <li>・製品で汗、洗濯堅ろう度が低い素材</li> </ul>
2	1-12	洗い方	1 蛍光増白剤配合洗剤は使用しないこと	2 生成の変色、色むらの発生に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍光剤が使われていない綿、麻、レーヨンなどセルロース系素材で生成または淡色、中間色の素材</li> </ul>
2	1-13	洗い方	1 酸素系漂白剤を使用しないこと	2 変色発生に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・含金染料使用の綿、麻、レーヨン素材</li> <li>・脆(ぜい)化する可能性を指摘されている服飾付属を使用している場合</li> </ul>
				3 もろくなることにより破れに注意	

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	1-14	洗い方	1 洗濯は裏返しネット使用	2 モ-ル系の飛びだし、滑脱、引っ掛かり注意	・モ-ル系使用製品
				3 飾り部分の損傷、他のものへの損傷に注意	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ-
				4 白化、毛羽立ち、変色に注意	・絹 ・麻 ・テンセル ・綿の濃色品
2	1-15	洗い方	1 すすぎは十分に行うこと	2 はっ水、透湿性低下に注意	・超高密度生地製品 ・はっ水透湿性製品 ・はっ水・防水加工品
				3 色むら発生に注意	・ラミネ-ト製品 ・コ-ティング製品
				4 かさだか性低下に注意	・ダウン製品 ・中わた製品
				5 べとつきに注意	・オイルクロス
2	1-16	洗い方	1 濡れた状態での放置禁止	2 色泣き発生に注意	・濃淡の配色製品 ・濃淡のプリント製品
2	1-17	洗い方	1 ウェットクリ-ニング可(家庭洗いは出来ませんが、クリ-ニング店のウェットクリ-ニングが出来ます)	2 汗しみ、水溶性汚れの除去可能	・商業ウェットクリ-ニング対象品 ・綿 ・麻
2	1-18	洗い方	1 クリーニングは専門業者に出すこと	2 硬化に注意	・皮革 ・毛皮
2	1-19	洗い方	1 <クリーニング店へのお願ひ> フッ素系禁止	2 プリント消失に注意	・特殊プリント加工
				3 ボンディングの剥離に注意	・ボンディング製品 ・ラミネ-ト製品
2	1-20	洗い方	1 短時間洗いすること	2 外観、風合い変化に注意	・オイルクロス ・コ-ティング製品 ・モ-ル系使用品製品 ・絹 ・麻 ・テンセル
				3 変色に注意	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ-
2	1-21	洗い方	1 ネット使用	2 モ-ル系の飛び出し、滑脱、他のものへの引っ掛かりに注意	・モ-ル系使用製品
				3 飾り部分の損傷、他のものへの損傷に注意	・スパンコ-ル ・ビ-ズ ・スワロフスキ- ・フロッキ- ・レ-ス ・フリル ・コ-ティング製品
				4 白化、毛羽立ちに注意	・絹 ・麻 ・テンセル

一般表示  
(1) 洗い方

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	1-22	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 弱洗いのこと	2 表面変化、収縮発生に注意	・アンゴラ ・カシミア ・ラム ・パイル編み ・モ-ル糸使用製品 ・リボンヤ-ン
				3 プリントの脱落、変色に注意	・金 ・銀プリント ・発泡プリント
2	1-23	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 水分注意	2 収縮に注意	・アンゴラ ・カシミア ・ラム ・強撚使用製品
2	1-24	洗い方	1 淡色のものとは別に洗うこと	2 移染、洗液汚染に注意	・濃色製品 (水洗い品を想定)
				3 水洗いででの収縮に注意	
2	1-25	洗い方	1 —	2 水洗いででの収縮に注意	・強撚(アイロンで回復可能なもの)
2	1-26	洗い方	1 長時間の流水すぎは避けること	2 水道水中の塩素による変色に注意	・トリアセートなど塩素に弱い素材 ・インディゴ染め製品
2	1-27	洗い方	1 再はっ水加工すること	2 洗濯後、はっ水性低下に注意	・はっ水加工製品
2	1-28	洗い方	1 柔軟剤使用禁止	2 縫い目滑脱に注意	・減量加工素材を使用した製品
2	1-29	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> 石油系ドライクリーニングは避け、ウエットクリーニングをすること	2 溶剤残留による、きわつきに注意	・溶剤が抜けにくいコーティング、ボンディング素材製品 ・ダウン製品
2	1-30	洗い方	1 必ずドライクリーニングをすること	2 水洗いによる収縮、型崩れ、風合い変化、変色に注意	・水洗い不可製品
2	1-31	洗い方	1 <クリーニング店へのお願い> ドライクリーニングは避け水洗いすること	2 外観変化・風合い変化に注意	・オイルコーティング
2	1-32	洗い方	1 水洗いは中性洗剤使用	2 外観変化・風合い変化に注意	・羽毛製品 ・グリッター ・ラメ製品 ・水洗い可能な絹、毛、トリアセート製品

一般表示  
(2) 脱水

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	2-01	脱水	1 <クリーニング店へのお願い> 脱水を充分に行なうこと	2 溶剤残留によるきわつき発生に 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品</li> <li>・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
2	2-02	脱水	1 洗濯後、十分に脱水して乾燥すること	2 溶剤残留によるきわつき発生に 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品</li> <li>・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
2	2-03	脱水	1 洗濯後は直ちに脱水し干すこと	2 濡れたままの放置による色落ち に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン 濃淡の配色、濃色プリント</li> <li>・洗濯堅ろう度、汗堅ろう度の低い製品</li> </ul>
2	2-04	脱水	1 遠心脱水禁止	2 脱水時、洗濯機の異常振動に 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・高密度織物</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
				3 脱水しわに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン</li> </ul>
2	2-05	脱水	1 遠心脱水は短めにすること	2 脱水しわに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン</li> </ul>
2	2-06	脱水	1 洗濯、すすぎ後の脱水に注意すること	2 脱水時、洗濯機の異常振動に 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合成皮革</li> <li>・コーティング</li> <li>・高密度織物</li> <li>・中綿、ダウン製品</li> </ul>
				3 脱水しわに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン</li> </ul>

一般表示  
(3) 乾燥

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	3-01	乾燥	1 形を整えて二つ折りにして 吊干しすること	2 吊干しの際、自重による伸びに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニット、カットソー素材</li> <li>・ローゲージのニット</li> <li>・よこ地使いのニット</li> <li>・吊干しで伸びる製品</li> </ul>
2	3-02	乾燥	1 形を整えて板の上に平干しすること	2 吊干しの際、自重による伸び、型崩れに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニット、カットソー素材</li> <li>・ローゲージのニット</li> <li>・よこ地使いのニット</li> <li>・吊干しで伸びる製品</li> </ul>
2	3-03	乾燥	1 形を整えて干すこと	2 洗濯による収縮、ねじれ、型崩れに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニット、カットソー製品</li> <li>・クレープなど収縮の大きい製品</li> </ul>
2	3-04	乾燥	1 タンブル乾燥機使用禁止	2 収縮に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリウレタン弾性系使い</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・毛、絹など強撚系使い</li> <li>・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット</li> <li>・カットソー製品</li> </ul>
				3 毛羽立ち、ピリングに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・甘撚り系使用製品</li> </ul>
				4 白化に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インディゴ染め製品</li> <li>・顔料染め</li> <li>・絹、綿、麻の濃色品</li> </ul>
				5 外観変化、損傷に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーズ</li> <li>・スパンコール使用品</li> <li>・モール系使用品</li> <li>・フロック加工</li> <li>・プリント製品</li> </ul>
				6 表面変化に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・セルロース系高混率のジャージ、ニット</li> <li>・カットソー製品</li> </ul>
				2 収縮に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウレタン弾性系使い</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・毛、絹など強撚系使い</li> <li>・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット</li> <li>・カットソー製品</li> </ul>
2	3-05	乾燥	1 衣類乾燥機使用禁止	3 毛羽立ち、ピリングに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・甘撚り系使用製品</li> </ul>
				4 白化に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インディゴ染め製品</li> <li>・顔料染め</li> <li>・絹、綿、麻の濃色品</li> </ul>
				5 外観変化、損傷に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーズ</li> <li>・スパンコール使用品</li> <li>・モール系使用品</li> <li>・フロック加工</li> <li>・プリント製品</li> </ul>
				6 表面変化に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・セルロース系高混率のジャージ、ニット</li> <li>・カットソー製品</li> </ul>
				2 収縮に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウレタン弾性系使い</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・毛、絹など強撚系使い</li> <li>・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット</li> <li>・カットソー製品</li> </ul>
				3 毛羽立ち、ピリングに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・甘撚り系使用製品</li> </ul>



一般表示  
(3) 乾燥

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	3-06	乾燥	1 <クリーニング店へのお願い> 静置乾燥機使用	2 タンブル乾燥による収縮に注意	・ウレタン弾性系使い ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・毛、絹など強撚系使い ・麻、レーヨン、アクリルなどローゲージニット ・カットソー製品
				3 タンブル乾燥時の摩擦による毛羽立ち、ピリングに注意	・起毛素材 ・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 タンブル乾燥時の摩擦による白化に注意	・インディゴ染め製品 ・顔料染め ・絹、綿、麻の濃色品
				5 タンブル乾燥時の摩擦による外観変化、損傷に注意	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工 ・プリント製品
				6 タンブル乾燥時の摩擦による表面変化に注意	・起毛素材 ・セルロース系高混率のジャージ、ニット ・カットソー製品
2	3-07	乾燥	1 自然乾燥のこと	2 タンブル乾燥による収縮に注意	・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)
				3 タンブル乾燥時の摩擦による毛羽立ち、ピリングに注意	・獣毛(アンゴラ、カシミアなど) ・甘撚り系使用製品
				4 タンブル乾燥時の摩擦による外観変化、損傷に注意	・ビーズ ・スパンコール使用品 ・モール系使用品 ・フロック加工
				5 タンブル乾燥時の摩擦による表面変化に注意	・デリケートな風合いの獣毛品等
				6 タンブル乾燥時の摩擦によるプリーツ消失に注意	・クリスタルプリーツ
2	3-08	乾燥	1 タンブル低温乾燥のこと	2 高温のタンブル乾燥による収縮に注意	・アクリル長繊維製品 ・ウレタン弾性系使い
2	3-09	乾燥	1 乾燥は十分に行なうこと	2 溶剤残留による、きわつきの発生に注意	・合成皮革 ・コーティング ・表地に高密度織物を使用した中綿、ダウン製品 ・表地に高密度織物、裏地にフリースのボンディング ・中綿、ダウン製品
2	3-10	乾燥	1 タンブル乾燥すること	2 溶剤残留による、きわつきの発生に注意	・中綿、ダウン製品

一般表示  
(4) アイロン

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	4-01	アイロン	1 アイロンは裏側から軽くあてること	2 アタリやテカリ、毛倒れに注意	・別珍 ・コーデュロイ ・ベルベット ・フロッキー
2	4-02	アイロン	1 ~部分のアイロンは低温のこと	2 アイロンの熱で硬化、溶融に注意	・合成皮革 ・人工皮革 ・ラバープリント ・転写プリント ・アクリル混素材の部分使い
2	4-03	アイロン	1 <クリーニング店へのお願い>人体プレス・スチームトンネル禁止	2 収縮、表面の凹凸発生に注意	・絹製品 ・ポリウレタン弾性系使い
				3 プリーツの消失に注意	・プリーツ製品
2	4-04	アイロン	1 ~部分のアイロン禁止	2 熱による硬化、溶融に注意	・合成皮革 ・人工皮革 ・毛皮 ・フェイクファー ・コーティング ・プリント ・スパンコール ・ビーズ
2	4-05	アイロン	1 スチームアイロンは浮かしてかけること	2 毛倒れ、毛羽乱れの表面変化に注意	・別珍 ・コーデュロイ ・ベルベット ・起毛素材 ・ふくれ織
2	4-06	アイロン	1 スチーム禁止	2 収縮、外観変化に注意	・絹 ・スリット糸 ・起毛素材 ・レーヨンベルベット
2	4-07	アイロン	1 ~部分のスチーム禁止	2 収縮、外観変化に注意	・絹 ・スリット糸 ・起毛素材 ・レーヨンベルベット
2	4-08	アイロン	1 アイロンの際は軽く折目をつけること	2 擦り切れに注意	・モヘヤ
2	4-09	アイロン	1 アイロン掛けはスチームを少なめに行なうこと	2 表面変化に注意	・レーヨンベルベット
2	4-10	アイロン	1 着用の伸びはスチームで修正すること	2	・揚柳 ・ローゲージニット
2	4-11	アイロン	1 霧吹き禁止	2 水じみに注意	・絹 ・レーヨン ・アセテート ・セルロース系高混率のチンツ加工素材 ・ビーパー仕上げ毛織物
2	4-12	アイロン	1 <クリーニング店へのお願い>洗濯後の濡れ掛けプレス禁止	2 襟やカフスの収縮に注意	・トップヒューズ芯使いのワイシャツ
2	4-13	アイロン	1 水じみは全体に霧を吹きアイロンで修正可能	2 雨や水などに濡れるとしみのような跡が残ることあり	・レーヨン ・キュブラ ・起毛製品
2	4-14	アイロン	1 ~部分には当て布をしてアイロンをかけること	2 外観変化が発生することあり。	・プリント等加工素材 ・コーティング
2	4-15	アイロン	1 ~部分はスチームで浮かしアイロンすること	2 外観変化が発生することあり。	・起毛素材

一般表示  
(5) 着用・手入れ

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	5-01	着用・手入れ	1 ブラシで毛並みを整えること	2 着用中の摩擦や洗濯により毛羽が乱れることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・起毛素材</li> <li>・毛足長の生地</li> <li>・カットパイル</li> <li>・別珍</li> <li>・コーデュロイ</li> <li>・ベルベット</li> <li>・シャギー</li> <li>・モール糸使用品</li> <li>・フリース</li> <li>・極細繊維</li> </ul>
				3 着用中の摩擦や洗濯による毛羽立ち、ピリングが生じることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・甘撚り糸使用製品</li> <li>・合成繊維混用製品</li> <li>・紡毛ニット</li> </ul>
				4 着用中の摩擦や洗濯による毛足の倒れ、変色に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・毛皮、フェイク・ファー</li> <li>・別珍</li> <li>・ベルベット</li> <li>・コーデュロイ</li> </ul>
2	5-02	着用・手入れ	1 ほこりが付着した際はテープやブラシで除去すること	2 素材の特性上、ほこりが付くことあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・極細繊維</li> </ul>
2	5-03	着用・手入れ	1 ブラッシングや毛玉取り器で手入れすること	2 着用中の摩擦や洗濯により毛羽立ち・ピリングが生じることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛素材</li> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・甘撚り糸使用製品</li> <li>・合成繊維混用製品</li> <li>・紡毛ニット</li> </ul>
2	5-04	着用・手入れ	1 毛羽が他に付着した際はテープやブラシで除去すること	2 素材の特性上、着用中に他のものに毛羽や毛玉が付くことあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣毛(アンゴラ、カシミアなど)</li> <li>・起毛素材</li> <li>・モール糸使用品</li> <li>・フリース</li> <li>・裏毛起毛品</li> <li>・人工皮革</li> <li>・スエード</li> </ul>
2	5-05	着用・手入れ	1 しみはこすらないこと	2 摩擦による白化や毛羽立ちが生じることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絹</li> <li>・レーヨン</li> <li>・麻</li> <li>・テンセル</li> </ul>
2	5-06	着用・手入れ	1 しみ抜き剤の使用禁止	2 しみ抜き剤により色落ちすることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔料染め</li> <li>・ドライ堅ろう度が低い水洗い製品</li> </ul>
2	5-07	着用・手入れ	1 皮革油で手入れすること	2 洗濯による硬化あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮革</li> <li>・オイルクロス</li> </ul>
				3 湿度の多い場所に保管するとカビが発生することあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮</li> <li>・革</li> </ul>
2	5-08	着用・手入れ	1 汗は水洗いで速やかに除去すること	2 汗が付着した状態で日光や蛍光灯の影響を受けると変色することあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綿、麻、レーヨン</li> <li>・屋外での苛酷な着用が予測されるセルロース系の製品</li> <li>・白、淡色のコーティング素材</li> </ul>
2	5-09	着用・手入れ	1 汗や汚れが付着した場合は早めに手入れすること	2 汗に濡れると色が落ちることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汗堅ろう度が低い製品</li> <li>・ウオッシュブルシルク</li> </ul>
2	5-10	着用・手入れ	1 淡い色との重ね着には注意すること	2 摩擦によって他のものに色が移ることあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻濃色</li> <li>・レーヨン、キュブラ濃色</li> <li>・インディゴ</li> <li>・顔料</li> <li>・天然皮革</li> </ul>

一般表示  
(5) 着用・手入れ

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	5-11	着用・手入れ	1 できるだけ同色のものと組み合わせ着用すること	22 着用中に毛羽が脱落したり、付着したりすることあり	・モール系 ・フロック加工
2	5-12	着用・手入れ	1 色移りした場合はすぐに洗濯すること	2 摩擦によって他のものに色が移ることあり	・顔料 ・インディゴ
2	5-13	着用・手入れ	1 引っかきに注意	2 先の尖ったものや、ざらついたものに引っかかると、糸が飛び出すことあり	・浮きの多い編、織組織、刺繍の施された製品
2	5-14	着用・手入れ	1 縫目、ひらきに注意	2 過度の力が加わると、縫目がひらくことあり	・縫目滑脱が発生する恐れのある製品

一般表示  
(6) 保管

文言	NO	キーワード	取扱い	事象(紋切り型)	適用(例)
2	6-01	保管	1 湿気が少なく通気のよい場所に保管すること	2 カビ、臭気の付着、劣化などの発生に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮革</li> <li>・毛皮</li> <li>・ボンディング</li> <li>・ラミネート素材</li> <li>・合成皮革</li> <li>・人工皮革</li> <li>・ダウン製品</li> </ul>
2	6-02	保管	1 湿気を避けて保管すること	2 カビ、臭気の付着、劣化などの発生に注意	
2	6-03	保管	1 汚れがついたままの状態や湿度の高い場所での保管は避けること	2 カビ、臭気の付着、劣化などの発生に注意	
2	6-04	保管	1 光の当たらない場所に保管すること	2 色あせ、変色に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絹</li> <li>・ポリウレタン</li> <li>・アセテート</li> <li>・ブリーチ加工デニム</li> <li>・ウール抜染プリント品</li> <li>・皮革</li> <li>・毛皮製品</li> <li>・合成皮革</li> <li>・人工皮革</li> </ul>
2	6-05	保管	1 ハンガー掛けでの保管 禁止	2 自重による伸びに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリーツ製品、ローゲージのニットやレーヨン素材等自重伸びしやすい製品</li> </ul>
2	6-06	保管	1 ハンガー掛けで保管すること	2 毛倒れやしわに注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レーヨンベルベット</li> </ul>

「專 用 表 示」  
事象編

紋 切 り 型

専用的に使用される注意表示（事象編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	8-01	表面フラッシュ	1	表面の毛羽のため、炎を近づけると火が走ることもあり。
			2	着用時にガスレンジの炎や、ライター-の炎に近づかないこと。
2	8-02	皮膚刺激（チクチク感のある製品。獣毛混、麻、特殊加工製品等）	1	本品は素材特性上、素肌に直接触れる箇所に刺激を感じることもあり。
2	8-03	プレス当たり	1	濃色品及び、凹凸部分のアイロン掛けはあたりが出やすいので当て布をし、強く押さえないこと。
2	8-04	水じみ	1	雨や水にぬれると、しみになることあり。
			2	水洗い製品は、水洗いで除去できる。
			3	水じみは、スチームを掛けて修正できることあり。
2	8-05	経時劣化（ポリウレタン樹脂）	1	合成樹脂は年月の経過で劣化し、剥がれたり、べたつくことあり。
			2	樹脂面への強い摩擦やもみ作用は不可。
			3	汚れ・化粧品などを付着したまま放置すると劣化が早まる。
			4	風通しが良く、湿度の少ない、日のあたらない場所に折りたたまないでHガ-に吊るして保管すること。
2	8-06	溶剤残留	1	ドライクリーニング後、溶剤の残った状態で着用すると、皮膚を刺激し、炎症の原因になることあり。
			2	クリーニング後、ビニールカバーをはずし、風通しのよいところで十分に乾燥すること。特に溶剤の臭いがする状態での着用禁止。
2	8-07	色移り	1	濃色品は摩擦や汗による色移りに注意すること。
			2	淡い色との重ね着に注意すること。
			3	できるだけ同色のものと組み合わせて着用すること。
			4	色移りした場合はすぐに洗濯すること。
			5	他の製品と一緒に洗わず、単独で洗うこと。
			6	淡色のものとは別に洗うこと。

専用的に使用される注意表示（事象編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	8-08	摩耗白化	1	着用による摩擦や洗濯の繰り返して、白化、毛羽立ち、部分的な脱色が起こることあり。
			2	部分的なつまみ洗いや、もみ洗いはせず、押し洗いすること。
			3	<クリーニング店へのお願ひ> ブラシ洗いやワッシャーなど強い洗いはしないこと。
			4	裏返して、ネットにいれて洗うこと。
			5	タンブル乾燥機使用禁止。
			6	衣類乾燥機使用禁止。
			7	しみは、こすらないこと。
2	8-09	毛羽付着	1	強く摩擦すると表面の毛羽が脱落したり、付着したりすることあり。
			2	着用により毛羽が付着することあり。
			3	他の製品と一緒に洗わず、単独で洗うこと。
			4	毛羽が他に付着した際はテープやブラシで除去すること。
2	8-10	バブリング	1	雨などで濡れますと織物表面が凸凹状になったり波状のシワが発生することあり。アイロンで修正可能。
2	8-11	ナイロン糸の溶融	1	ナイロン糸は熱に弱く、高温アイロンで溶融し生地が破れることがあります。
			2	アイロンがけは低温のこと。



「専用表示」  
素材編

紋 切 り 型

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-01	麻製品	1	この素材はしわになりやすい性質あり。
			2	濃色品は摩擦や汗による色移りに注意すること。
			3	着用による摩擦やドライクリーニング・洗濯などの繰り返しで白化、毛羽立ち、部分的な脱色が起こることあり。
2	9-02	アセテート、トリアセテート	1	濃色品は石油ストーブの燃焼ガスや車の排気ガスで変色することあり。
			2	石油ストーブを長時間使用する部屋や車の排気ガスのたまりやすい場所に保管しないこと。
			3	湿気が少なく通気の良い場所に保管すること。
2	9-03	絹製品	1	着用や洗濯の際「すれ」や摩擦による毛羽立ち・白化に注意すること。
			2	最初から毛羽立たせた素材は毛羽の脱落による色変化に注意すること。
			3	化粧品や汗、水などによる色落ち・きわじみに注意すること。
			4	洗濯やしみ抜きは必ずクリーニング店に出すこと。
			5	色あせや変色することあり。光の当たらない場所に保管すること。
2	9-04	ウォッシュアップシルク	1	着用や洗濯の際「すれ」や摩擦による毛羽立ち・白化に注意すること。
			2	最初から毛羽立たせた素材は毛羽の脱落による色変化に注意すること。
			3	化粧品や汗、水などによる色落ち・きわじみに注意すること。
			4	色あせや変色することあり。光の当たらない場所に保管すること。
			5	洗濯は中性洗剤を使用し単品で軽く押し洗いすること。
2	9-05	レーヨン・キュブラ	1	着用や洗濯の摩擦により毛羽立ちが発生したり色が白っぽく見えることあり。
			2	濃色品は摩擦や汗による色移りに注意すること。
			3	雨や水などに濡れるとしみのような跡が残ることあり。全体に霧を吹きアイロンで修正可能。
2	9-06	獣毛混、甘撚り、起毛	1	本品は特有のソフトでなめらかな風合いが特徴。表面の毛羽が他の物に付着することあり。
			2	連日着用は避けること。
			3	繊維がからみついた際はブラシなどでほぐすこと。
			4	毛玉は毛玉取り器またはハサミで丁寧にカットすること。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-07	テンセル	1	摩擦に弱く、特に濡れた状態で強く摩擦されると色が変わることあり。
			2	着用や洗濯の繰り返しで、色むらや毛羽立ちが徐々に発生することあり。
			3	水や汗に濡れると濡れた部分がかたくなり、しみ状に見えることあり。乾くと元の風合いに戻る。
			4	素材表面を傷つけないために裏返しにして洗濯すること。
			5	洗濯により多少縮むことあり。当て布をして伸ばし気味のアイロンで修正可能。
			6	上下揃いで購入の際は色差を防ぐために一緒に洗濯すること。
			7	水じみができやすいので注意すること。
2	9-08	インディゴ	1	摩擦によって他のものに色が移ることあり。淡い色との重ね着に注意すること。
			2	他の衣類に色が移った場合は着色した衣類の取扱い表示に従って洗濯すること。
			3	着用や洗濯の繰り返しで色が徐々に脱落し白っぽくなることあり。
			4	洗濯は単独で洗い水道水の注水放置（すすぎなど）は不可。
			5	洗濯後直ちに形を整えて干すこと。
			6	タンブル乾燥機使用不可。
			7	淡色品は紫外線や湿度の影響で黄変することあり。軽度の黄変は洗濯で回復可能。
			8	上下揃いで購入の際は色差を防ぐために一緒に洗濯すること。
2	9-09	草木染め	1	天然の草木染め生地使用。洗濯は中性洗剤で柔軟剤、酸素系漂白剤は使用不可。
2	9-10	顔料	1	顔料を使用。顔料染色特有の色合いが特徴。
			2	着用中摩擦で他のものに色が移ることあり。
			3	インナーやランジェリーなどに色移りした場合はすぐに洗濯すること。
			4	取扱い表示を必ず確認し表示どおりの洗濯をすること。
			5	洗濯の繰り返しで全体的に白っぽくなることあり。
			6	部分的にもみ洗いやブラシ洗いを行うとその部分の脱色が目立つことあり。
			7	洗濯は裏返して単品洗いすること。
			8	タンブル乾燥機使用不可。
2	9-11	モール系	1	糸の特性上、毛羽が抜けやすく重ね着したものに付着することあり。
			2	ベルトやバッグとの摩擦や引っ掛けに注意すること。
			3	着用でモール系表面が押さえられ光沢が変化して見えた場合、浮かしスチームアイロンで修正可能。
			4	ニット商品で糸が浮いたり飛び出した場合、その部分を中心にしてたて・よこ・斜めに引っ張り、その糸を徐々に裏側に引っ込めて修正すること。
			5	洗濯の際、糸が飛び出すことあり。やわらかいメッシュ状のネットを使用すること。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-12	ネップ系	1	ネップ系使用。着用の際、他のものところざれるとネップが起き上がることもあり。
			2	ネップ系：ネップ(繊維の小さなかたまり)を入れて作った飾糸。
2	9-13	金属系（スリット系）	1	パーマ液など薬剤の付着で変色する場合あり。
			2	保管の際、他の毛、絹、ゴム製品との接触は不可。
			3	湿気が少なく通気の良い場所に保管すること。
			4	汗や汚れを付着させたままの保管は不可。
			5	防虫剤の取扱い注意表示をよく読み種類にして衣服に直接触れないように保管すること。
2	9-14	フリース	1	この素材は着用中の摩擦や洗濯などにより素材表面が乱れることあり。ブラッシングで多少回復可能。
2	9-15	インド綿	1	摩擦によって他のものに色が移ることあり。淡い色との重ね着に注意すること。
			2	日のあたる場所に長く放置すると変色することあり。
			3	水洗いで多少縮むことあり。
			4	漬け置き不可。洗濯後脱水してすぐ干すこと。
2	9-16	楊柳	1	本品は雨など水に濡れると濡れた箇所が縮むことあり。
			2	本品は凹凸を伸ばさないように軽くアイロンをかけて表面状態を回復すること。
2	9-17	マイクロファイバー	1	本品はマイクロファイバーを用いた生地を使用。ソフトな風合いを出すため表面起毛加工を行っており、摩擦頻度の多い部位は毛並みが乱れてすり切れたかのように見えることあり。ブラッシングで修正可能。
			2	マイクロファイバーは汚れを吸着しやすいため早めに洗濯すること。
2	9-18	ペロア、ベルベット	1	毛並みに方向性があるため着用中にねじれたり裾や袖口が上がってくることあり。特に上から着用するフィット性のあるものほど顕著になるため注意すること。
			2	素材の特性上、毛が抜けることあり。
2	9-19	オパール加工	1	オパール加工品（繊維の一部を溶かし、すかし模様を出す加工）
			2	加工の特性上、強い摩擦により細かい繊維が脱落することあり。
			3	<クリーニング店へのお願い> デリケート素材のため洗濯はソフトなネットに入れるなど十分に注意すること。
2	9-20	エンボス加工	1	エンボス加工品（表面に凹凸の加工を施し独特の風合いを出す加工）
			2	仕上げはアイロンを浮かしぎみに掛けること。
			3	凹凸は永久的なものではなく着用や洗濯の繰り返しで減少することあり。
			4	過度の摩擦や圧迫で凹凸が乱れたり減少することあり。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-21	フロック加工	1	フロック加工品（生地表面に細かく短い繊維を毛羽状に植え付ける加工）
			2	強く摩擦すると表面の毛羽が脱落したり、付着したりすることあり。
			3	連続着用は避け、できるだけ同色のものと組み合わせて着用すること。 バックなどの持ち物にも注意すること。
			4	裏返してネットに入れ洗濯すること。
			5	アイロンは低温で当て布をして軽く押さえる程度にすること。あるいはスチームアイロンを軽く浮かして掛けること。
			6	素材の特性上、年月の経過とともに樹脂が劣化しパイルが脱落することあり。
			7	<クリーニング店へのお願い> ドライクリーニングは石油系以外の溶剤は使用不可。
2	9-22	シワ加工	1	クリーニング店に出す際はシワ加工であることを申し出ること。
			2	しわの保持性は永久的ではなく着用や洗濯で徐々に消失する。
			3	高温アイロンやスチームの使用は不可。
2	9-23	絞りプリーツ加工	1	プリーツは着用や洗濯の繰り返しで多少伸びることあり。
			2	単品洗い、脱水は20秒程度。
			3	プリーツ部分はアイロン不可。
			4	保管の際、ハンガーにかけずにたたんで置くこと。上には他の衣類をのせないこと。
			5	<クリーニング店へのお願い> スチームトンネルや蒸気吹き出しタイプの人体プレスは不可。
2	9-24	オイルコーティング	1	特殊加工品。摩擦されるとスレのような状態（チョークマーク）が見られることあり。ドライクリーニングは避けて水洗いすること。
2	9-25	はっ水加工	1	はっ水（水をはじく）加工品。完全防水でないため強い雨に注意すること。
			2	ドライクリーニング後、はっ水効果が低下するため、はっ水加工を依頼すること。また市販の、はっ水スプレーも可能。
			3	<クリーニング店へのお願い> フッ素系の溶剤は不可。
2	9-26	むら染め加工	1	洗い落とし感覚のむら染め加工品（表面の色むらは生地欠点ではなく加工によって特殊感覚を出したもの）
2	9-27	羽毛製品（水洗い可）	1	羽毛の特性低下を防ぐため中性洗剤で水洗い（手洗い）すること。
			2	洗濯後はタンブル乾燥を推奨。吊干しの際は十分に乾燥させた後、片寄ったダウンを手でたたいて均等にすること。
			3	油性の汚れなど水洗いで落ちにくい場合は石油系ドライクリーニングすること。
			4	<クリーニング店へのお願い> パークロロエチレンによるドライクリーニングは禁止。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-28	羽毛製品（水洗い不可）	1	家庭洗濯禁止。専門クリーニング店に出すこと。
			2	パークロロエチレンによるドライクリーニング禁止。
			3	ドライクリ - ニングはきれいな溶剤を使用し適正なソ - プ濃度で洗うこと。
			4	裏返しにして十分に脱液すること。
			5	乾燥の初期は常温のタンブル乾燥を行うこと。
2	9-29	人工皮革製品	1	着用の際、バッグやベルトなどかたいものとのすれに注意。光沢の低下や傷、コーティング剥離の原因になることあり。
			2	洗濯は取扱い絵表示に従うこと。
			3	汚れが付着したまま保管すると変色やコーティング剥離の原因になることあり。洗濯して保管すること。
			4	スウェードタイプのもは部分的に強くこすらないこと。また表面はブラシで毛並みを整えること。
			5	ドライクリーニング後は溶剤によるやけどを防ぐため必ずカバーを外して風乾すること。
			6	人工皮革部分はアイロン禁止。
			7	光が当たる場所や高温多湿での保管は不可。
			8	たたむなど密着状態での保管は避け、時々風通しをすること。
			9	表面樹脂は年月経過とともに劣化することあり。
2	9-30	合成皮革製品	1	光沢の低下や傷、コーティング剥離の原因になることあり。着用の際、バッグやベルトなどかたいものとのすれに注意。
			2	取扱い絵表示に従うこと。
			3	汚れが付着したまま保管すると変色やコーティング剥離の原因になることあり。洗濯して保管すること。
			4	スウェードタイプのもは部分的に強くこすらないこと。また表面はブラシで毛並みを整えること。
			5	ドライクリーニング後は溶剤によるやけどを防ぐため必ずカバーを外して風乾すること。
			6	合成皮革部分はアイロン禁止。
			7	光が当たる場所や高温多湿での保管は不可。
			8	たたむなど密着状態での保管は避け、時々風通しをすること。
			9	表面樹脂は年月経過とともに劣化することあり。
2	9-31	塩化ビニル樹脂製品	1	ストーブなどの火や熱による軟化、溶融に注意すること。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-32	天然皮革製品	1	洗濯（ベンジンをを用いる場合を含む）または水洗いをするとう革の色が落ち、革が硬化する恐れあり。重ね置きしないで温度・湿度が低くかつ通気のよい場所に保管。特に梅雨時には陰干しを行うこと。汚れ落としは革製衣料専用のクリーナーを使用すること。アイロンは不可。
			2	摩擦によって他のものに色が移ることあり。淡い色との重ね着に注意すること。
			3	洗濯は皮革専門業者に出すこと。
2	9-33	天然毛皮製品	1	連続着用は避け、着用後は軽くたたきなどほこりをはらい風通しのよい場所で陰干しすること。
			2	毛並みの乱れは軽くブラッシングをして整えること。
			3	雨など水に濡れたら乾いたタオルで拭き陰干しすること。
			4	簡単な汚れは濡らしたタオルをきつく絞って軽く拭き陰干しすること。しみは早めに毛皮専門のクリーニング店に相談すること。
			5	毛皮を折り曲げずに薄手の木綿または衣装ケースに防虫剤を入れ、ゆったりと湿気の少ない場所で保管すること。
			6	毛皮にしわや折目がついた場合、温かい蒸しタオルで毛並みにそって軽く拭き風通しのよい場所で陰干しすること。
			7	通常のドライクリーニング禁止。毛皮専門のクリーニング店に相談すること。
2	9-34	フェイクファー製品	1	<クリーニング店へのお願い> フェイクファーは石油系溶剤で短時間処理後、静置乾燥機使用のこと。
			2	フェイクファー部分のアイロンやスチームは不可。
2	9-35	グリッター	1	ラメ粒子(グリッター)付着加工品。
			2	着用や洗濯の繰り返しでラメ粒子が徐々に脱落することあり。
			3	熱に弱いためアイロンは絵表示を確認して掛けること。
			4	汗が付着したまま放置すると光沢が消失することあり。早めに手入れすること。
			5	水洗い可能商品は中性洗剤を使用し裏返して短時間洗いすること。
2	9-36	ビーズ・спанコール	1	着脱の際、引っ掛けによる糸の切断に注意すること。
			2	洗濯はソフトなネットを使用すること。
			3	装飾部分への直接のアイロン掛けやタンブル乾燥機使用は不可。
2	9-37	ラインストーン	1	本品はデリケートなラインストーンの装飾物を使用しているため着脱の際の引っ掛けに注意すること。
			2	洗濯の繰り返しにより脱落することあり。
			3	洗濯は他の衣料との引っかかり防止のためソフトなネットを使用すること。
			4	装飾部分への直接のアイロン掛けやタンブル乾燥機使用は不可。

専用的に使用される注意表示（素材編）

文言	NO	キーワード	ケア表示（紋切り型）	
2	9-38	ラメ製品	1	汗が付着したまま放置すると光沢が消失することあり。早めに手入れすること。
			2	水洗いは中性洗剤使用。
			3	ポリエチレンなどの袋に入れたまま保管しないこと。
2	9-39	発泡・ラバープリント	1	プリント材料に発泡剤またはラバーを使用。
			2	着用や洗濯の繰り返しでプリント部分がひび割れたり脱落することあり。
			3	保管の際、プリント部分に他のものが当たらないように注意すること。
			4	プリント部分のもみ洗いやタンブル乾燥機の使用禁止。
			5	手絞りは軽く、脱水はプリント同士が付かないように短時間で行うこと。
			6	プリント部分のアイロン禁止。
2	9-40	製品洗い	1	製品での洗い加工のため一点一点に微妙な色、サイズ、風合いなどの違いあり。
2	9-41	バイアス使い	1	本品の表素材はバイアス(斜め)使いをしているため袖や着丈が若干伸びることあり。洗濯後のアイロンは押さえるように掛けること。
			2	<クリーニング店へのお願い> 「機械仕上げ」不可、「手仕上げ」のこと。
2	9-42	強撚素材	1	雨などに濡れると織物表面がシボ状になったり波状のシワが発生することあり。アイロンで修正可能。
			2	本品は強撚糸を使用。水洗いで若干の収縮やしわが発生することあり。スチームアイロンで修正可能。
2	9-43	浮きの多い編・織組織、刺繍のある製品、ドビー織、ジャカード織、フィラメント系使いの製品	1	他のものとの引っかかりに注意。糸が飛び出すことあり。
2	9-44	レース製品	1	洗濯はネット使用。
			2	過度な力が加わると縫い目がひらき、目よれを起こすことあり。
			3	粗い組織のものや表面に糸が浮き出ているもの、ルーズな組織のものは引っかかりやすく、装飾品や周囲の壁などに注意。
			4	熱やスチームで縮むことありアイロン掛けには充分注意。
2	9-45	ポリウレタン系	1	ポリウレタン繊維は素材の特性上、熱によって縮みやすいため、スチームアイロンやタンブル乾燥は禁止。
			2	年月の経過と共に劣化し、ポリウレタン糸が飛び出したり、伸縮性が失われることあり。



一般表示 部位・附属・加工コード表

1-10、4-02・04・07・14・15での「～部分」一覧(アイウエオ順)

01	衿
02	加工表面
03	飾り釦
04	金具
05	カフス
06	カフス釦
07	柄
08	革ひも
09	起毛
10	キルティング
11	金属釦
12	くるみ釦
13	毛皮
14	合成皮革
15	コーティング
16	コーティングテープ
17	コード釦
18	コサージュ
19	小物
20	サスペンダー
21	シボ
22	人工皮革
23	スパンコール
24	スリット糸
25	装飾
26	装飾やベルト等の付属
27	袖
28	テープ
29	転写プリント
30	中わた
31	ニット
32	ネクタイ
33	パイピング
34	バックル
35	パット
36	ビーズ
37	皮革
38	ファーテープ
39	ファスナー
40	フェイクファー
41	フェイクムートン
42	付属
43	プリーツ
44	フリル
45	プリント
46	フロッキー
47	別布
48	ベルト
49	ベルベット
50	ボア
51	釦
52	釦やバックル
53	ポリウレタン
54	ポリ塩化ビニールテープ
55	マーク
56	モール
57	ライナー
58	リボン
59	ループ
60	レース
61	ワッペン等の付属

章 副資材分類

副資材の呼称は、アパレル企業や副資材企業ごとに独自の呼び名が使われ、バラバラでしたが、これを標準化し「副資材種別・商品呼称コード表」にまとめました。

副資材種別  
商品呼称コード表

コード	副資材種別	コード	商品呼称	分類(参考)
01	タグ	01	下げ札	発注明細が確定後に生産(インプリント)が必要な副資材。(受注時生産品)
		02	口紙	
		03	バーコードシール	
		04	ヘッダー	
		05	パンツカード	
		06	袖カード	
		99	その他	
02	ケアラベル	01	縫付けラベル	オーダー先ブランドロゴ等が入った副資材またはオーダー先固有情報が印刷された副資材。
		02	下げ札	
		03	シール	
		99	その他	
03	ネーム	01	ブランドネーム	先行生産、在庫出荷可能(バイオーダーで作られる、副資材。)
		02	衿ネーム	
		03	吊りネーム	
		04	サイズネーム	
		05	デメリットネーム	
		06	ビスネーム	
		99	その他	
04	アクセサリ(服飾)	01	ボタン	先行生産、在庫出荷可能(バイオーダーで作られる、副資材。)
		02	加工ベルト	
		03	フラッシュャー	
		04	皮パッチ	
		05	ワッペン	
		99	その他	
05	商品部材	01	芯地	準既製品的な副資材
		02	裏地	
		03	ファスナー	
		04	キルト	
		05	パット	
		06	テープ	
		07	小附属	
		99	その他	
06	その他の副資材	01	ハンガー	01~05までに当てはまらない副資材
		02	サイズチップ	
		03	ロックス	
		04	パッケージ	
		05	キーパー	
		06	台紙	
		07	袋	
		08	帯紙	
		99	その他	

<サブヘッダ>

データタグNo.	項目名	要求	項目内容	属性	備考
	レコード区分	M	B サブヘッダレコードを表す	X(1)	「B」サブヘッダレコードを表す
23524	副資材発注番号	M	副資材メーカーへの発注番号	N(4)	
	副資材発注番号枝番	M	Aパレルメーカー発行番号に対する枝番	N(3)	
	副資材品番コード (識別コード)	M	Aパレルメーカーと副資材メーカー間で定めた副資材を識別するコード	X(13)	
	副資材種別コード	M	副資材種別を表すコード(標準副資材種別コード)	N(2)	コード表を添付
	商品呼称コード	M	副資材種別毎の商品呼称を表すコード(標準商品呼称コード)	N(2)	コード表を添付
	発注数量合計	O		N(5)	
23004	発注者コード1	O	注文を行う企業および事業所・事業部門を表すコード(標準企業コード)	X(13)	
23005	受注者コード1	O	注文を受ける企業および事業所・事業部門を表すコード(標準企業コード)	X(13)	
23003	データ作成日	O	データを作成した日付。(8桁:YYYYMMDD)	X(8)	
23100	発注日	O	発注者が発注、あるいは指図を出した日付。(8桁:YYYYMMDD)	X(8)	
	データ作成時刻	O	データを作成した時刻。(6桁:HHMMSS)	N(6)	
	国内海外区分	O	縫製工場の所在が国内、海外を示す区分 国内:0(ゼロ) 海外:1	N(1)	注:輸出時の対応
	SHIPPER	O	国内海外区分=1(海外)の場合/SHIPPER名	X(30)	注:輸出時の対応
	ON-BE-HALF	O	同上/代行輸出時に必要	X(30)	注:輸出時の対応
	建値	O	同上/EX GODOWN, FOB, CIF, C&F等	X(30)	注:輸出時の対応
	通貨	O	同上/JP¥,US\$等	X(3)	注:輸出時の対応
	VESSEL/FLIGHT区分	O	同上/運送手段の区分 V:VESSEL, F:FLIGHT	X(1)	注:輸出時の対応
	出港地	O	同上/ 例: OSAKA,KOBE,YOKOHAMA等	X(20)	注:輸出時の対応
	仕向け地	O	同上/ 例: SHANGHAI,DALIAN等	X(20)	注:輸出時の対応
	CONSIGNEE	O	荷受人住所と宛名 1行40桁×6行構成	X(40)	注:輸出時の対応
	出港日	O	出向予定日(8桁:YYYYMMDD)	X(8)	注:輸出時の対応
	ケースマーク	O	シッピングマーク 1行25桁×10行構成	X(25)	注:輸出時の対応
	決済手段	O	NO COMMERCIAL VALUE, L/C, T/T	X(30)	注:輸出時の対応
	受注確定者	O	副資材メーカー側の受取担当者	K(40)	
23146	受注担当者	O		K(40)	
23352	備考	O		K(80)	

明細3(ケアラベル)

データタグNo.	項目名	要求	項目内容	属性	備考
	レコード区分	M	「C」明細レコードを表す	X(01)	
	レコード番号	M		N(5)	
23718	ブラベル枚数	M		N(07)	
23362	洗濯表示	M		X(30)	
23360	付記用語 1	O		X(10)	
	付記用語 2	O		X(10)	
	付記用語 3	O		X(10)	
	付記用語 4	O		X(10)	
	付記用語 5	O		X(10)	
	付記用語 6	O		X(10)	
	付記用語 7	O		X(10)	
	付記用語 8	O		X(10)	
	付記用語 9	O		X(10)	
	付記用語 10	O		X(10)	
	付記用語 11	O		X(10)	
	付記用語 12	O		X(10)	
	付記用語 13	O		X(10)	
	付記用語 14	O		X(10)	
	付記用語 15	O		X(10)	
	付記用語 16	O		X(10)	
	付記用語 17	O		X(10)	
	付記用語 18	O		X(10)	
	付記用語 19	O		X(10)	
	付記用語 20	O		X(10)	
	カラー適用区分	O	1:標準カラー 2:専用カラー	N(1)	
23417	製品色柄番号	O		X(05)	
23419	製品色柄名	O	カラー名称(日本語表記)	K(30)	マスターを持てば不要
	サイズ適用区分	O	1:標準サイズ 2:専用サイズ	N(1)	
23415	製品サイズ	O		X(09)	
23416	製品体型	O		X(04)	
	三元表示1	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示2	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示3	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示4	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示5	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示6	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	三元表示7	O	三元表示(日本語表記)	K(80)	
	原産国適用区分	O	1:標準原産国 2:専用原産国	N(1)	
	原産国コード	O		X(04)	
	原産国名	O		K(20)	
23233	縫製工場コード	O	縫製を行う工場を表すコード	X(13)	
23400	発注者品番	O	アパレルメーカーの製品品番	X(15)	
23407	JANコード	O		X(13)	
23359	品質表示1	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示2	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示3	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示4	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示5	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示6	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示7	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示8	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示9	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示10	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示11	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示12	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示13	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示14	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示15	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示16	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示17	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示18	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示19	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
23359	品質表示20	O	使用部分、組成、混率の表記(日本語表記)	K(80)	
	Lot No.	O		X(13)	
	アパレルメーカーコード	O		X(13)	
	アパレルメーカー名	O		K(40)	
	発注者連絡先	O		K(80)	
23352	備考			K(80)	

## 衣料品の「取扱い注意表示ガイド」

平成 17 年 3 月

社団法人 日本アパレル産業協会  
SCM推進委員会品質管理WG委員会

〒135-8071 東京都江東区有明 3-1 TFT ビル東館 9F  
TEL : 03-5530-5481 FAX : 03-5530-5482